

明治大学

情報コミュニケーション学部

School of Information and Communication



まだ見ぬ問いを、
解き明かす

MELJI

UNIVERSITY 2027

研究

途上国の貧困解決に挑む コーヒー農家に 新たな価値をもたらす

現在、ゼミ活動で「途上国のコーヒー農家の貧困を解決する」というテーマに取り組んでいます。具体的には、世界第2位のコーヒー生産国であるベトナムの農家を対象に、市場動向を踏まえたコーヒー取引のあり方について研究を進めています。

ベトナムでは安価なロブスタ種が95%を占め、特に少数民族の農家で高い貧困率が問題です。私たちは、文献や有識者の話を参考に、彼らが生産するコーヒー豆にいかにつ加価値をつけられるかを模索しています。

この研究は、1年次の経済学の授業で知った「神保町コーヒープロジェクト」に感銘を受けたのがきっかけです。活動を通じて、貧困問題は一国だけで解決するのは難しく、関係国の政策や援助の重要性に気づきました。

将来は、経済学や地理学など、学部で学んだ学際的な視点から物事を多角的に捉え、見通しにくい世の中の課題に対して、自分の力で最適解を導き出せる人材を目指します。

情報コミュニケーション学科3年

黒井 優さん 東京都立日野台高等学校卒業

情報社会を読み解き、価値を創造する

1

社会・人文・自然科学を 横断する 「学際的な学び」

分野を越えて学ぶことで、複雑な社会の仕組みを多角的に理解します。社会科学を基盤に、人文科学の洞察と自然科学の知見を結び合わせ、新しい視点を育てます。

2

自ら「問い」を立てる ゼミナール教育

1年次から少人数のゼミで、自ら課題を見つけ、仲間と議論しながら考えを深めます。思考を磨くプロセスを通じて、自分だけの研究テーマを見出します。

3

情報と社会をつなぐ 実践的プログラム

フィールドワーク、ワークショップ、メディア制作などを通して、情報を社会にどう活かすかを実践的に学びます。自ら発信し、社会とつながる力を養います。

4

多文化社会で学ぶ 国際的視野

学部間協定留学や「世界のキャンパスから」など、多様な文化・言語に触れる機会が豊富です。世界と地域の課題を行き来しながら、グローバルな視点を育みます。

5

多様な個性が交わる、 自由で開かれた学びの場

ジェンダー、言語、宗教、価値観の違いを越えた共生的な環境で、互いの個性を尊重しながら学び合います。

自由な発想と創造的な表現が、新たな価値を生み出します。

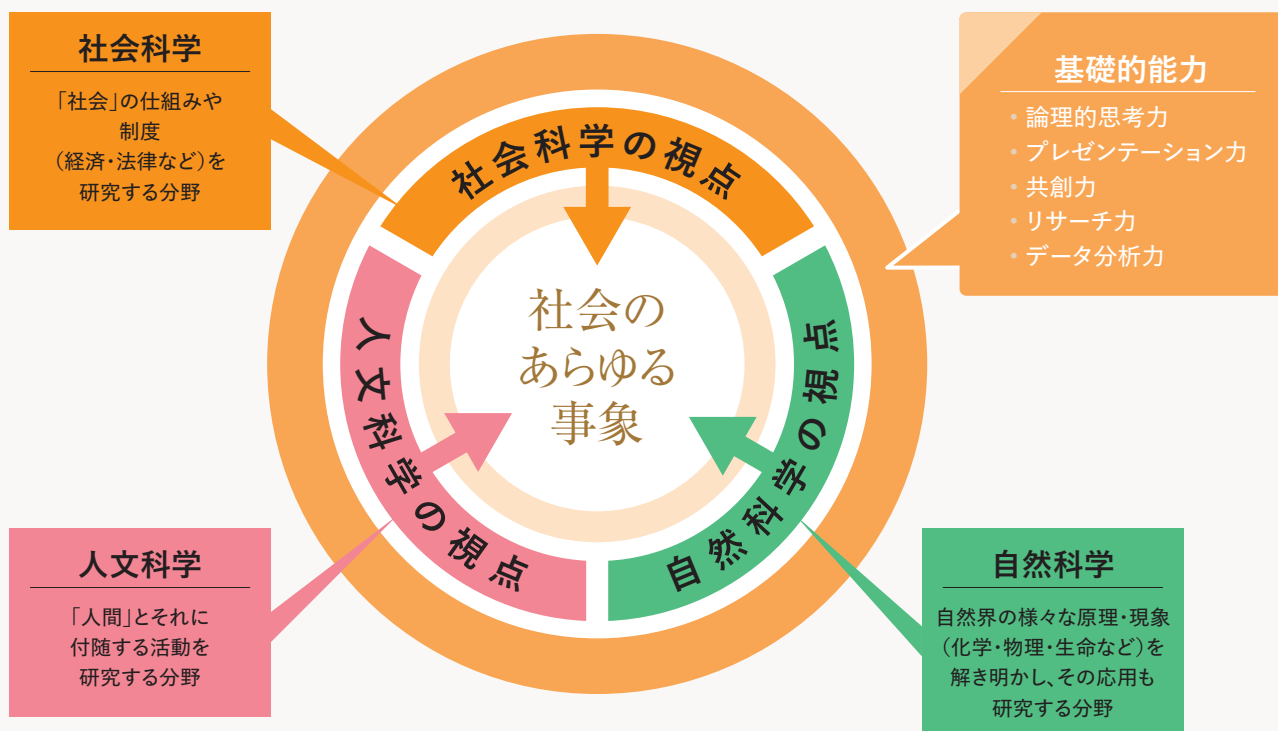
CONTENTS

学部コンセプト	01	② 大きな課題に対して、できることを考え、実践し、SDGsに貢献する	13	資格取得 就職実績	25
情報コミュニケーション学部の概要	03	ゼミナール教育の特色	15	学生生活	26
情報コミュニケーション学部のカリキュラム	05	教員×学生 座談会		卒業生からのメッセージ	27
情報コミュニケーション学部での4年間の流れ	07	教員と学生が共に作り出す		課外活動 入試情報	29
■ 1年次・2年次		「情コミならではの」学びの場	17		
■ 3年次・4年次		基礎教育・専門科目	19		
情報コミュニケーション学部の特色		国際交流	21		
① 自分自身で「問い」を立て、多角的な視点からアプローチする楽しさを学ぶ	11	教員紹介	23		

※登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2025年度のもので、2025年以前撮影の写真も掲載しています。

まだ見ぬ問いを、解き明かす

既存の課題を学びながら、新たな課題を見出し、その意味を多角的に探究していく姿勢が重要です。変化の激しい現代社会において求められるのは、「問い」を立て、新しい知を生み出す力です。学際的な視点から対話や実践を通して解を模索していく。その過程こそが知の創造であり、未来を切り拓く学びの原点となります。

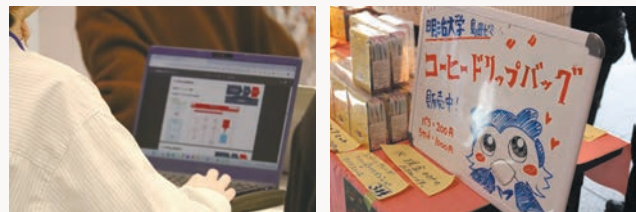


明治大学情報コミュニケーション学部の3つの柱

Point 1 社会の^{いま}〈現在〉を捉える

Point 2 多様で学域横断的なアプローチ

Point 3 創造と表現



知の土台を築き、社会へ漕ぎ出すための4ステップ

| STEP |

1

1年次 世界の広さを知る

入学後は、多様な学問を学ぶための基礎的な訓練とともに、「情報コミュニケーション学入門 A・B」などを通じて幅広い研究分野に触れ、学際的な学びのベースを築きます。幅広い授業やゼミでの対話、フィールドワークを経験し、世界や地域の課題に目を向けます。異なる文化や価値観に触れることは、自分を相対化し、社会の広がりを実感する第一歩です。こうした体験は、学びへの関心を深めるとともに、自らの将来像を考えるきっかけにもなります。



| STEP |

2

2年次 社会を読み解く「視点」を手に入れる

1年次で培った基礎をもとに、社会・人文・自然科学を横断しながら複雑な社会現象を多角的に分析する力を養います。ゼミや講義では、単に知識を蓄えるのではなく、課題を発見し、批判的に考察することで、自らの意見を形成します。現代の社会を読み解き、多様な視点を実践的に獲得することで、課題への理解を深め、解決への基盤を築きます。

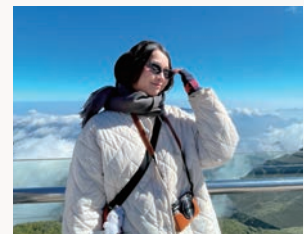


| STEP |

3

3年次 自分だけの「問い」を深める

これまでの学びを基盤に、自らの関心に即した問いを立て、専門科目やゼミで学びを深めます。研究方法を学び、調査や分析を重ねる中で、既成概念にとらわれず問題を検証し、自分なりのテーマを確立します。討論や共同研究を通じて多様な意見に触れ、視野を広げながら思考を練り上げることで、社会や世界に対して新たな切り口を提示できる力を身に付けていきます。



| STEP |

4

4年次 社会とつながり、「価値」を創造・発信する

卒業論文や卒業制作などに取り組み、学びの集大成として成果を社会へ発信します。研究の「現場」に身を置き、多様な人々と協働することで、知識を実践に移し、課題に回答する提案や表現を形にします。そこで得た経験は、新たな価値を創造する力を鍛え、次のステージに進む自信となります。急速に変化する社会の中で、主体的に行動し、未来を切り拓く人材として羽ばたくことを目指します。



情報コミュニケーション学部のカリキュラム

○ 主体性を持って学び、自ら「問い」を発見・解決する4年間

学科主要科目

		1 年次	2 年次	
ゼミナール科目群	各分野最低必要単位	基礎ゼミナール	問題発見テーマ演習A・B	
学際科目群	入門 4単位	情報コミュニケーション学入門A・B		
専門科目群	社会科学	家族社会学概論 コミュニティ論 社会心理学A・B 組織論 ミクロ経済学	環境と社会 ジェンダー論 情報社会と経済 犯罪と法I・II メディア・リテラシー	
	人文科学	異文化理解 宗教学 生命論A・B 地理学 日本文学 歴史学	英語文学A・B 小集団コミュニケーション 西洋史概論 哲学 パブリックスピーキング 比較文化(基礎)A・B	
	自然科学	社会科学から 4単位	外国文学 新興国事情 地域文化論(基礎) 東洋史概論	憲法A・B 社会学A・B 政治学 マクロ経済学
	社会システム	人文科学から 4単位	言語学 心理学A・B 地誌学 日本史概論 メディア批評	
	文化と表象	自然科学から 2単位	科学技術史 人類学A・B	環境生物学 地球環境科学
	人間と環境	これを 含め 専門科 から 64単位	情報科学 脳科学	情報検索論
外国語科目群	6	English Skills AI-II(基礎 中級 上級) English Skills BI-II(基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B	Critical Reading Critical Writing A・B Critical Discussion	
研究方法・ 表現実践科目群	4*	ドイツ語AI-II フランス語AI-II スペイン語AI-II 中国語AI-II 韓国語AI-II タイ語AI-II	ドイツ語演習I-II フランス語演習I-II スペイン語演習I-II 中国語演習I-II 韓国語演習I-II タイ語演習I-II	
	10	日本語AI-II 日本語BI-II	日本語AIII・IV 日本語BIII・IV	
海外留学科目群	-	(情報リテラシー科目) ICTプログラミング入門・応用 ICT統計解析入門・応用 ICTWebページ作成	ICTプレゼンテーション ICTデータベース入門・応用 ICT音楽編集入門・応用 専門情報リテラシー	
ウェルネス科目群	-	ウェルネスA・B	留学関係科目(語学・実習)A	
キャリアデザイン科目群	-	キャリアデザイン	ウェルネス・スポーツA・B	
情報リテラシー科目群	-	ICTベーシック	インターンシップ入門	
総合講座	-			
総単位	124	※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択		

▶▶Pick up

英語コミュニケーション能力特別強化プログラム

「SPICE」

情報コミュニケーション学部では、国際社会で活躍できる英語力とコミュニケーション力を育てるため、少人数制の特別英語クラス「SPICE」(Special Program for Information & Communication in English)を設置しています。単なる会話だけでなく、内容のある議論ができる力を身に付け、英語で自分の考えを伝えられる学生の育成を目指しています。

短期・長期留学に関するアドバイスなども提供し、海外を目指す学生をサポートします。

SPICEの紹介は
こちら



早期卒業制度

明治大学情報コミュニケーション学部では、成績が特に優秀な学生を対象に早期卒業制度を導入しています。明治大学大学院情報コミュニケーション研究科をはじめ、そのほか国内外の大学院への進学を希望する学生は、3年次終了時に大学卒業資格(学士)を得て、進学することが可能です。

3年次			4年次		
科目名			科目名		
問題分析ゼミナールI・II			問題解決ゼミナールI・II 卒業論文・卒業制作		
情報コミュニケーション学					
イノベーションの経済学 NPO論 家族と法I・II 経済思想史 現代アメリカ政治 現代行政と法A・B 現代型犯罪と刑法I・II 現代政治学I・II 公共政策A・B コーポレート・ガバナンスI・II 国際関係論I・II 国際経済論A・B 個人と国家 財産と法I・II ジェンダーと法A・B ジェンダー・マネジメントI・II 国際関係論I・II 社会福祉学A・B 情報産業論 情報システム論 情報社会論A・B 情報政策論A・B 情報法A・B 犯罪社会学 人権と政策 政治とメディア ソーシャルビジネス論 組織と情報 知的財産法A・B 知的財産法A・B 犯罪社会学 ビジネスと法A・B ファイナンス論A・B 紛争解決システム論I・II マスコミュニケーション論A・B メディアの歴史 メディア論					
アート・マネジメント 近・現代史I・II 異文化コミュニケーション史 英語の文化と歴史 映像表現論 音楽表現論 記号論 社会文化史 言語研究 言語表現論 広告論 ジェンダーと社会I・II ジャーナリズム論I・II スポーツ・ジャーナリズム論 情報社会と芸術 情報社会と芸術 情報社会と出版 情報デザイン論 情報文化論 地域文化論(スペイン) 造形表現論 多文化と相互理解I・II 地域文化論(英語圏)A・B 地域文化論(ドイツ) 地域文化論(フランス) 比較文学・比較文化A1・AII 地域文化論(中国) 地域文化論(朝鮮) 地域文化論(イスラーム) 超域文化論 日本文化論A・B 比較文学・比較文化B1・BII ユニバーサルデザイン 倫理学					
意思決定論A・B 異文化間コミュニケーション 科学技術と人 家族社会学 環境政策I・II 言語使用とディスコース コミュニケーション思想史 自然言語の生成モデル 自然地理学 消費行動の心理学 情報社会と安全A・B 情報と経済行動 情報と職業 人口論 身体と意識 身体表現論 人文地理学 生命思想史I・II 組織コミュニケーションA・B 都市情報論 人間性心理学 認知科学I・II ネットワーク社会学 パーソナリティ心理学 不確実性下の人間行動 不思議現象の心理学 法コミュニケーション					
English SeminarI・II 英語コミュニケーションI・II 英語音声学					
アルゴリズム実習I・II ネットワーク技術IV					
デジタルアートA・B デジタルプレゼンテーション 非言語コミュニケーション メディア教育論					
社会調査実習 質的調査分析法 データ解析論I・II					
留学関係科目(語学・実習)B		留学関係科目(講義)A		留学関係科目(講義)B	
ウェルネス・スポーツC・D 実践キャリア支援講座					
総合講座A～D					

Student Voice

学生の声

情報コミュニケーション学科3年

谷内田 菜里さん

神奈川県立厚木高等学校卒業



興味に合わせて広がる学びの可能性

高校時代は将来の目標が定まっていませんでしたが、この学部でなら、まずは幅広い学問に触れて自分の関心を見つけられると考え、入学を決めました。

実際、画像や動画編集、統計、法学、言語学など本当に多様なカリキュラムの中で、自分の興味に合わせて学ぶことができています。どの授業も発見ばかりで、「学ぶことが楽しい」と心から感じられます。

特に「ICTメディア編集」の授業で基礎から体系的に学んだ動画編集スキルは、サークル活動やアルバイトでの広報業務に役立っており、自分の表現の幅を大きく広げることができました。



Message

教員からのメッセージ

坂本 祐太准教授



柔軟なカリキュラムの中で

幅広い専門性を持った教員と「自分」を見つける4年間

情報コミュニケーション学部では、「学際性」をキーワードに一人ひとりの学生が従来の研究手法とは異なり多角的な視点から主体的に研究に取り組んでいます。一般的な学部では自分の専門が入学と同時に決まりますが、本学部では1・2年次で様々な学問に触れ、その中で自分が興味を持った学問を3・4年次でしっかりと深められるカリキュラムになっています。また、他の学部とは異なり教員の専門が多岐に渡っており、皆さんの興味関心に幅広く寄り添うことが可能です。4年間の大学生活で「自分」だけのカリキュラムを作り上げ、社会から求められる多角的な視野を情コミで一緒に身に付けましょう。

コミュニケーション能力重視・内容中心 (content base) の授業

英語でのスピーチ、ディベート、ディスカッションを通して、実践的な表現力を養います。専門的な内容を英語で学ぶ授業もあり、語学力と学びを結び付ける力を育てます。



経験豊かな教員陣

授業はネイティブ・スピーカーや海外経験のある教員が担当。少人数だからこそ、一人ひとりへの指導が行き届き、ホームワークや自習のサポートまで丁寧に行います。



多様な研究の最先端を知り、問題を発見する

「情コミ」には、様々な研究分野をテーマにしている専任教員が多数在籍しています。1年次は、「情報コミュニケーション学入門A・B」を履修し、各交代で登場する専任教員の専門的な視点からの講義を受講します。現代社会の様々な問題に関する多彩なアプローチの仕方を垣間見ることが、自らが探究する研究を設定するうえで、大きな道標となります。講義科目では、「社会科学」「人文科学」「自然科学」と大きく3つに分類された科目群の中から、興味・関心のある科目を選択することができます。また、選択必修外国語(英語以外の外国語)教育では、言語(語学)を通じて異文化を知り、それを尊重するというを目的としています。そのための講座を「演習」科目として設定しています。

「情コミ」は、ゼミナール教育にも力を入れています。1年次には「基礎ゼミナール」が設けられ、ここで、論理的思考、資料の収集・分析、論文・レポート、プレゼンテーション等の基礎を修得します。2年次には「問題発見テーマ演習A・B」が設置されており、ひとつのテーマについて集約的な議論や輪読、また、フィールドワークや作品制作などを少人数で行い、研究を達成するための能力を育成します。

1年次

自由に学び、
多様な経験から
将来を描ける環境



足利 俊樹さん

北海道
私立札幌第一高等学校卒業

[1年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1						-
2	情報倫理	比較文化(基礎)A	基礎ゼミナール	英文学A		-
		情報検索論	基礎ゼミナール	社会学B	科学技術史	
3	EnglishSkillsAI (SPICE)	Speech&DebateA	EnglishSkillsBI (SPICE)	キャリアデザイン		-
	EnglishSkillsAll (SPICE)	Speech&DebateB	EnglishSkillsBII (SPICE)	言語学		
4			スペイン語BI	スペイン語AI	美学・芸術学	-
		クリエイティブ・コミュニケーション	スペイン語BII	スペイン語AII		
5			経営学			-
6		環境生物学(M)				-

メディア授業科目:情報コミュニケーション学入門A(M)、外国文学(M)、情報コミュニケーション学入門B(M)、メディア社会学(E)(M)

※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業。

Q&A

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は?

Answer 高校生の頃から、テレビやラジオなどメディア業界に興味がありました。この学部は、メディアに関することだけでなく、「学際性」を軸に幅広く学べ、自分の興味に合わせて授業を自由にカスタマイズできる点が大きな魅力でした。必修科目が少ないため、空いた時間で学部主催の海外ロケ体験プログラムなどに、挑戦できることも決め手になりました。

Q 授業を通して、どんな「気づき」や「変化」がありましたか?

Answer オムニバス形式の「キャリアデザイン」の授業が、特に人生観を変えるきっかけになりました。企業の社長や茶道家など、様々な業界で活躍されている講師の、仕事や人生経験について深く知ることができました。特に、「バクチャー狂会」を創設した方の「自分のやりたいことを楽しむ」という姿勢に感銘を受け、以前の将来への漠然とした不安が期待と楽しみに変化しました。

Q 将来の目標と、学部での学びをどう活かしたいか教えてください。

Answer 卒業後は、メディア業界への就職を目指しています。そのためには、世の中の出来事を多角的に捉えられる視点が不可欠だと考えています。学部での多様な授業の履修に加え、様々なイベントや人との関わりを通して、多様なものの見方を吸収し続けます。ここで身に付けた多角的な視点と、そこから生まれる独創的な発想を活かし、社会で活躍できる人材になりたいです。

情報コミュニケーション学入門A・B

「情報コミュニケーション学入門A・B」は、春学期と秋学期の二段階で構成されるオムニバス形式の授業で、担当教員がそれぞれの専門視座から講義を行います。

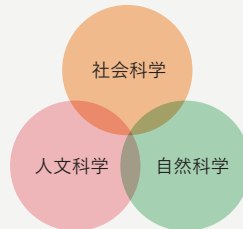
春学期は、「社会科学・人文科学・自然科学の分野を情報コミュニケーション学部で学ぶ意義」を軸として関連分野との学際的な考察例を学びます。秋学期は、現代における重要テーマに対して、各担当教員の専門分野の見地から問題意識や課題について講義を行います。3~4回を通して一つのテーマを扱うことで同テーマに対する多彩なアプローチや多様な見方を体感することを目的としています。

1年間を通して、学域横断的なアプローチの面白さを実感し、3・4年次での専門的な学びに広がりを持つような機会を提供しています。

2026年度情報コミュニケーション学入門A・B

〔春学期〕

〔秋学期〕



テーマ①

商品開発における多角的視点

(行動経済学・イノベーション・言語学・心理学)

テーマ②

AIと法的責任

(知的財産法・メディア論・刑法・認知科学)

テーマ③

文化的多様性

(異文化理解・リスク社会論・国際開発・地域文化論)

2年次

幅広い学びの中で
やりたいことを
見出せる環境が魅力



菊地 晴香さん

神奈川県立
横浜翠嵐高等学校卒業

[2年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1		社会調査法A 社会調査法B				-
2	Critical Writing A (SPICE) Critical Writing B (SPICE)	Critical Discussion	専門情報リテラシー (社会統計)	異文化理解 問題発見テーマ演習B		-
3		マクロ経済学	市民社会と法I 市民社会と法II	政治学 情報社会と経済		-
4	Critical Reading	インターンシップ入門		問題発見テーマ演習A 統計学B	日本語表現I 日本語表現II	-
5		地球環境科学		クリエイティブ・コミュニケーション	スペイン語演習I スペイン語演習II	-
6						-

メディア授業科目: Japanese Culture (文学部)

※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業。

Q&A

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 自分自身の適性や興味が分からず、それを発見するために大学に進学したいと考えていました。情報コミュニケーション学部の最大の魅力は、必修科目が少ない代わりに、関心のある授業を選び、知識の幅を広げられること。また、スケジュール管理がしやすく、インターンシップや学業以外のことに挑戦するなど、時間を有効に活用することができることです。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 英語力を高めることで言語に対する不安や苦手意識をなくして、世界中の人とコミュニケーションを取りたいと考え、英語強化プログラムの「SPICE」に参加しました。1年次に履修した「English Skills AI」の専用クラスでは、自分の思っていることを英語で伝えるのは難しいと感じる一方で、クラスメイトも海外に興味を持つ人がほとんどなので、刺激を受けることも多くモチベーションが上がりました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 一つの課題に対して様々な視点で思考し、課題解決できるようになることが目標です。多様な視点を養うためには、色々なジャンルの学問を学び、活かしていくことが大事です。大学生活の中で、偏見を持たず、同級生や教授の話をたくさん聞くようにし、自分の意見も明確に伝えられるよう、多くの人と関わっていきたくと考えています。

問題を分析し、解決する

3年次に履修できる科目は多岐にわたりますが、必修科目はありません。「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」と大きく3つに分類された科目群の中から、自己の興味・研究目的に合致した科目を選択することができます。3年次からは「問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ」が開始され、4年次の「問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ」へと続いていきます。このゼミナールは、各担当教員の主要担当科目から設定したテーマを学習する中で、現代社会における情報コミュニケーションの意義と機能を踏まえて、問題点のさらに深い理解と洞察力を養うことを目的としています。4年次の「問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ」の中には卒業論文作成を目的としたゼミナールもあります。それを選択した学生

は「卒業論文・卒業制作」という科目を履修し、情コミの4年間の集大成として卒業論文や卒業制作に取り組むことができます。また、情コミで主催している「研究交流祭」は、各ゼミナールの研究・活動成果を発表する学部イベントで、情コミの学際性を体感できる機会となっています。

3年次

国際社会で対応できる 言語力と コミュニケーション能力 を磨く



大谷 侑生さん

東京都
私立本郷高等学校卒業

[3年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1			ファイナンス論	環境政策Ⅰ		-
2			NPO論	問題分析ゼミナールⅠ		-
3	認知科学Ⅰ			ユニバーサルデザイン		-
4						-
5	デジタルプレゼンテーション			人類学A		-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目：知的財産法A、情報政策論A、ビジネスと法A

※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業
※秋学期から大学間協定留学中

Q&A

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer カリキュラムの自由度が高いこと、学べる分野の幅広さ、充実したゼミ教育などに魅力を感じたからです。高校生の頃はどのような分野に取り組んでいきたいか明確に決まっていなかったため、学際性と多様性を重視するこの学部を選びました。また、国際社会に対応できる人材を育成する英語プログラム「SPICE」に挑戦したいと考えたのも理由の一つです。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 2年次に履修したドウ先生の「問題発見テーマ演習A・B」です。海外のSF映画を鑑賞しながらネイティブの言い回しを学習するほか、科学が社会に及ぼす影響について、英語でグループワークやディスカッションを行い、意見をまとめてクラスメイトの前でプレゼンテーションします。この授業のおかげで英語でのコミュニケーション能力が上がり、映画の見方も変わりました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 多様な分野の学びから幅広い視点や知識を養い、積極的に物事に取り組む姿勢や臨機応変な対応力を身に付けることができました。卒業後は旅行業界で働くことを視野に入れており、「SPICE」で培った国際社会に対応できる言語力とコミュニケーション能力を活かし、お客様にとって記憶に残る旅を提供したいと考えています。

研究交流祭

STUDENT VOICE



3年
小松 ゆりさん

神奈川県立大和西高等学校卒業

「伝える」難しさと楽しさを知り、 多角的な視点を得た実りの場

自由なカリキュラムに惹かれ入学し、現在は都市ブランディングを研究しています。研究交流祭では「変容する秋葉原」をテーマに掲げ、現地での外国人観光客へのインタビュー調査に挑戦しました。15分という限られた時間で成果を伝えるため、情報の取舍選択や資料構成を工夫した経験は、発表スキルを大きく高める糧となりました。他ゼミの多様な研究から得た刺激や多角的な視点を、将来の目標である社会インフラ分野への貢献に繋げていきたいです。

2025年度 研究交流祭 ブロック最優秀賞

発表テーマ	学年
キャッチコピーは時代を映す鏡か？	3
アンフェアなフェアトレード	3
変容する秋葉原	3
公式リセール制度は転売価格を抑えるのか	3
聴かせる歌から刺さる歌へ —歌詞に見られる時代変容について—	4
なぜベトナムはコーヒーを作り続けるのか？	3
行徳における文化的背景が異なる人々の暮らしについて	3・4



発表の様子



各ブロック、最も優れた発表をしたチームは閉会式で表彰されます。

4年次

異なる分野同士の 関連性を感じ 点ではなく線で 学びが繋がっていく



住村 咲彩さん

神奈川県立
川和高等学校卒業

[4年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1		問題解決ゼミナールI 問題解決ゼミナールII				-
2	パーソナリティ心理学	自然言語の生成モデル 言語使用とディスコース	不確実性下の人間行動 消費行動の心理学	メディア教育論		-
3	不思議現象の心理学		マスコミュニケーション論 人文地理学	造形表現論		-
4	犯罪心理学		マスコミュニケーション論B			-
5						-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目:知的財産法B

※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業

Q&A

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 学際的なカリキュラムに強く惹かれたからです。大学で特定の分野を学ぶという具体的なイメージが持てず、そのため、必修科目に縛られず、幅広い分野から自由に受講科目を選ぶことができる点にとても魅力を感じました。異なる分野同士の関連性を感じ、学びが線でつながっていくのを実感できることも、当学部の大きなメリットだと考えます。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 人間行動に関する知識や考え方を学ぶ「不確実性下の人間行動」です。与えられる情報の些細な表現の違いが、意思決定に大きな影響を与えることを知り、潜在的なバイアスの存在に驚きました。意思決定が外部情報により、時には意図的に左右されることを理解し、情報を本質的に分析する力を養うことができたと感じています。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 自身が興味のある領域のプロフェッショナルになることが目標です。実際に幅広い分野の講義を受ける中で、多様な分野の中から自分が「好きだ」と感じる学問を見つけ、探求心を持って研究を進めてきた経験を活かしたいと考えています。また、学部で培った、問題解決に必要な多角的な視点や柔軟な姿勢も、将来に役立てていきたいです。

自分自身で「問い」を立て、多角的な視点からアプローチする楽しさを学ぶ

思考力が鍛えられる“情コミ”のゼミ授業

大学での勉強は講義を聞くだけではありません。

自ら課題を見つけ、どのような過程や方法で解決するかという思考力が問われます。

本学部では、1年次からゼミナール形式の授業を設け、その力を養います。

自分で発見した現代社会の課題をあらゆる方向から見つめ直す

自ら「問い」を発見し、多角的な視点からアプローチを試みつつ、積み重ねた知識を再構成して結論を導き出すというノウハウは、大学で時間をかけるからこそ培うことができるものです。情報コミュニケーション学部では、基礎を養う時期である1年次からゼミナール形式の授業が用意されており、4年間で基礎・問題発見・問題分析・問題解決と段階的に学ぶことができるようになっています。

根橋ゼミの研究テーマは多文化共生・異文化間コミュニケーション。近年、経済活動に伴う人の流れは国境を越え、ますますダイナミックになっています。自国を離れて働く人々と元々その土地に住む人々がともに生活する中、心の壁を取り払い、より豊かな多文化共生社会を構築するために何をすべきか。その答えを様々な活動を通じて、多様な視点で探っていきます。活動内容は外国人集住地でのフィールドワークや、ヒューマンライブラリーの開催、米国の大学のコミュニケーション学部の学生とのオンライン交流等。

内にとどまらず、アクティブに外ともつながる活動を通じて学びが深められています。

大学へ入学するまで、多くのお友達が暮らしてきたのは、同年代・同地域の人々に囲まれた、同質性の高い環境です。一方大学は、様々な地域から来る友人や、他学年の先輩・後輩、他の国から来日した留学生たちと交流できる場。物の見方や考え方の異なる人々と出会える環境です。中でも、ゼミでは自分と異なる考えや意見を交わせます。異文化間コミュニケーションや多文化共生と聞くと、多文化を知る・理解することをイメージしがちですが、「自文化を知る・尊重する→相手文化を知る・尊重する→相手文化に自文化を知ってもらう」というプロセスが重要。この考えのもと、実施されている根橋ゼミでは、単に相手を理解しようとするだけでなく、自分を知り、自分を知られるように発信する、そんなコミュニケーション力を養います。

MESSAGE



根橋 玲子 教授

多様な声に耳を傾け、 共に生きる知恵を育む学びを

コロナ以前の私たちの社会は、経済活動に伴う活発な人の流れが当たり前のようにあり、その流れは国境を軽々と越えたと信じていました。コロナや様々な地域で発生している紛争は、図らずも私たちの社会が、このような流れを簡単に止められること、そしてマイクロ・マクロの視点で容易に分断されることを露呈しました。しかし同時に分断があってもなお、人々は国を越えてつながっていることも明らかにしたと思います。日々移りゆく社会のあり方を、本学部で様々な視点から見つめ、豊かな学びを手に入れてください。

PROFILE

米国ミンガン州立大学大学院卒業。Ph.D. (コミュニケーション学)。専門は異文化間コミュニケーション・多文化共生。立教大学・東海大学を経て2004年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2013年同教授。文化背景の異なる人々がともに働き・暮らす社会に関心を持ち研究・教育活動に従事。



左、右)ゼミでは、対話を重視しています。ゼミ生同士、他大学の学生やゲストスピーカー、フィールドワークやヒューマンライブラリーなどの活動では学外の人々ともつながります。
中央)ヒューマンライブラリーは、多様な背景を持つ人々を「本」に見立て、少人数で対話することにより、「読者」として「本を読む」イベントです。

STUDENT VOICE



3年
田中 康太さん

神奈川県立海老名高等学校卒業

多様な価値観に触れ、 視野を広げるゼミ活動

情報コミュニケーション学部を選んだのは、幅広い分野を学び、自分に合った時間割を自由に組める環境に魅力を感じたからです。

根橋ゼミナールでは、留学生や帰国子女など多様なバックグラウンドを持つ仲間と活動しています。アメリカの学生とのオンライン授業や、多様な考え方を持つ人々と対話する「ヒューマンライブラリー」の運営などを通じ、世界観が大きく広がりました。

この経験から、人には100通りの考え方があることを実感し、偏見や自分の考えに囚われずに相手の立場に立って考える習慣が身に付きました。グローバル化が進む現代、この力を活かして人に寄り添い、人と人をつなぎ、笑顔の輪を広げられる大人になりたいです。

注目授業 実践キャリア支援講座

情報コミュニケーション学部のキャリア教育

情報コミュニケーション学部では、自身を見つめ直し、今後の生き方や働き方を考えるために、採用選考を前提としない就業体験の場が重要だと考えています。

「情報社会における問題発見・解決」、「学際的な学びを通じて、一つの問題に対して複数の観点からアプローチすること」などを通して、社会の変革に主体的・能動的に貢献できる人材養成を目指す取り組みの一環として本科目を開設しています。

「DX」を共通テーマとして多様な業界の企業・団体の方を講師として招き、現場で活躍する社員の方々の指導のもと、社会の変革に主体的・能動的に貢献できる力を養います。



ビジネス企画力を養える 「実践キャリア支援講座」

3年
森重 真帆さん

東京都立
武蔵高等学校卒業



ターゲットの心に響き、かつ収益性もある現実的なビジネスを立案する、ターゲット設定・コンセプト設計・収益モデル構築などを学ぶ、そうしたリアルな就業体験を通じて成長できるのが「実践キャリア支援講座」です。

毎回新しく編成される学生チームで1週間かけて企画をまとめ、講師である企業の方々にもその内容を発表。メンバーの意見をまとめるコミュニケーション能力や、企画を魅力的に伝えるプレゼンテーション能力を養いました。こうし

た力は、ゼミで研究を進める中でチームの意見を集約したり、研究交流祭での成果発表で伝え方を工夫したり、就活に向けての面接やグループディスカッションなどで役立っています。

これから社会に出れば、今よりさらに多様なバックグラウンドを持つ人たちと関わり、協働していくことになるはず。そのとき、ここでの学びを活かして、自分の意見をしっかりと伝えるだけでなく、さまざまな意見を吸収する姿勢を忘れずに活躍していきたいと思っています。

大きな課題に対して、できることを考え、実践し、SDGsに貢献する

神保町コーヒープロジェクト

社会課題を解決するため、学生たちにできることは何があるでしょう。島田ゼミでは、独自のコーヒー文化を持つ神保町の魅力の発見・発信を通じて、「街づくり」と「SDGs」に取り組んでいます。

コーヒー商品の開発を通じて、途上国の貧困と街づくりに向き合う

社会にSDGsが浸透する中、島田ゼミが挑むのは「神保町コーヒープロジェクト」。2020年新型コロナウイルスですべてがオンラインになる中で、できることを模索しながら開始した、途上国のコーヒー生産者の生活改善と神保町の街づくりを目指す取り組みです。Think Globally, Act locallyの実践として、「途上国の貧困」と「街づくり」という2つの社会課題に取り組んでいる点がポイントです。神保町を対象にしているのは、この地域が古書街として有名でAmazonや電子書籍の台頭といった経済のデジタル化によって大きな影響を受ける可能性があるからです。また神保町は古くからある喫茶店と現代的なカフェを備える多様なコーヒーの楽しみ方を提供できる場所でもあります。

プロジェクトでは、学生たちは遠く感じられる世界のことと、目の前の社会課題の両面に向き合っています。議論を重ね、コーヒーと書店の相乗効果を考慮した新たな街づくりについて提案。同時に、途上国のコーヒー生産者に

寄り添ったコーヒー取引のあり方も調査し提案しています。神保町にゆかりのあるコーヒー会社の協力を得てコーヒーの商品開発を行い販売しています。昨年は売り上げ30万円を生産地に寄付しました。

これまで、商品開発の他に、フリーペーパーやSDGsコーヒーマップなど神保町とコーヒーの魅力を明治大生視点で発信するツールも制作。SDGsコーヒーマップでは、フェアなコーヒーを取り扱っている神保町のお店を紹介しました。また世界食料デーには食品ロスの削減を目的とし、閉店時間がせまるパン屋で売れ残りそうな商品を仕入れて販売しました。廃棄されていたかもしれないパンを美味しく食べてもらうことが、食品ロスについて考えるきっかけになることを願った取り組みです。

プロジェクトを通じて、学生たちに身に付けてほしいのは社会課題を解決する力。国際社会や地域社会に対する視点を広げ、社会のために役立ててほしいと思います。

MESSAGE



島田 剛 教授

現場から学ぶ、社会課題を解決する力

情報コミュニケーション学部の特徴は「課題解決型」であり「学際的」であることです。現場に近くなればなるほど、一つの学問だけでは問題を解決できません。途上国の医療は病院を作るだけでは解決しません。道や橋がなければ病院に行けず、そのためには資金も必要になります。医学など一つの学問だけではなく、多くの学問の専門知識を突き合わせて問題を解決する学際的な取り組みが必要になってきているのです。そうした学際的な学びを一緒にしましょう。

PROFILE

博士(学術、早稲田大学)。JICA(国際協力機構)、国際連合日本政府代表部一等書記官、静岡県立大学国際関係学部准教授、コロンビア大学客員研究員、世界銀行およびアジア開発銀行コンサルタントなどを経て2018年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2023年同教授。著書に「いまを読み解くマクロ経済学」(日本評論社、2025)。



商品開発したコーヒー



上) 島田ゼミ生の集合写真

下) 商品開発した明治大学SDGsコーヒーを御茶ノ水ソラシティで販売

STUDENT VOICE



4年
高山 友里さん

東京都
私立東京都市大学等々力高等学校卒業

あらゆる学びを活用して 課題解決につなげる

情報コミュニケーション学部は、幅広い分野を学習しながら自分の興味関心と向き合うことのできる、有意義な学びの環境です。特に島田ゼミでは、「開発経済学」を中心に、途上国の問題に焦点を当てたコーヒープロジェクトや街づくりに取り組んできました。これらのプロジェクトでは、幅広い分野の学びをどのように活かして解決に繋げるかという点を、実践的に学ぶことができます。ゼミを通して、すべての学びは課題解決の一助になり得ると

いう意識を持つようになりました。また、多様な情報を柔軟に活用しながら学際的に考える力を身に付けられたと感じています。

注目授業 世界のキャンパスから

世界各国から研究者を招へいして行われる オムニバス講義「世界のキャンパスから」

この授業では、世界各地の様々な大学で最先端の研究を行っている新進気鋭の研究者を招き、オンライン形式を中心として、本学部の教員がコーディネーターとなって研究内容を分かりやすく紹介します。授業テーマは、メディア・音楽・ジェンダー・スポーツ・政治・ファッション等、分野を越えて多岐にわたります。この授業を受けることで、皆さんは世界の様々なキャンパスで、いったい何が問題として研究され、どのような授業が行われているのかを、日本にいながらにして知ることができます。興味を持った分野を本学部で極めるのも良いですし、授業で出会った研究者のもとへ留学を志すのも良いでしょう。



ゼミナール教育で得られる 情報コミュニケーション学部の醍醐味



ゼミナール(略称「ゼミ」)では、10~20名程度の比較的少数の学生がひとりの教員とともに、通常の大教室の授業では得られない双方向のコミュニケーションを取りながら学んでいきます。大学で学ぶことの初歩から専門的分野、資料の読み方や議論の仕方、レポート・論文の作成、プレゼンテーションまで幅広く学んでいきます。大学における「学び」の醍醐味が得られるの

がゼミなのです。本学部では、1年次から4年次まで段階的に履修するゼミナール科目を設置しています。1年次は基礎ゼミナール、2年次には問題発見テーマ演習A・B、3年次には問題分析ゼミナールI・II、4年次には問題解決ゼミナールI・IIが置かれています。3・4年次は2年間一貫して同一のゼミを取る必要があります。

学年ごとに所属ゼミを変えた場合

挑戦により「多角的な視点」を
獲得し、社会で活かせる
強みになりました

4年
生和 涼々さん

東京都
私立拓殖大学第一高等学校卒業



●1・2年次と3・4年次でゼミを変えた理由は何ですか？

この学部の魅力である「学際性」を活かし幅広い分野を学んだことで、自身の研究したいテーマが明確になったからです。1・2年次のゼミでジェンダーや社会学などをはじめとした多様な分野に積極的に挑戦した中で、格差・平等というテーマを突き詰めて学びたいと考えようになりました。また、学内外の様々な人と交流し、物事を多角的に捉える視点を身に付けたいという想いもあり、3・4年次では島田ゼミを選びました。

●ゼミを変更したことによるメリットは何ですか？

自分に対する内向きの視線と外向きの視線、複数の視点を得て考え方が柔軟になったことが大きなメリットです。1・2年次では、自分の内面にある「なぜ」を突き詰めて考え、深い思考と言語化する力が身に付きました。3・4年次では、自分の考えをどのように発信するべきかを考えられるように。また、知識や視野が広がったことでアンテナが増え、これまでは聞き流していたようなニュースも面白く感じられるようになりました。

1 年次

堀口悦子ゼミ
「ジェンダー」

2 年次前期

施利平ゼミ
「家族社会学」

竹中克久ゼミ
「組織論」

2 年次後期

阿部力也ゼミ
「犯罪と法」

3 年次

島田剛ゼミ
「国際経済・格差」

4 年次

4年間、同一ゼミに所属した場合

4年間じっくりと専門性を深め
「本当にやりたいこと」が
見つかるゼミの魅力

3年
金丸 美咲さん

静岡県立
沼津東高等学校卒業



●4年間同じゼミを選んだ理由は
何ですか？

「楽しそう」という気持ちで1年次に坂本ゼミを選んだのですが、2年次が終わる頃には、先生の和やかで学びやすい雰囲気ですっかり魅了され、このまま坂本先生の下で言語学を学びたい、と強く思うようになりました。もともと言葉や人の心の動きに関心があり、その2つが交わるこの分野を学ぶことで、言葉の裏にある人の心理を言語学の法則で読み解く、という面白さにも出会い、大きな魅力を感じて今も学び続けています。

●4年間同じ先生、同じテーマで学ぶ
メリットは何ですか？

一つの分野に深くのめり込むことができ、これまで気づけなかったような発見をしたり、自ら疑問を持って探求する力を養うことができます。また、やり抜くための集中力も身に付くと思います。私は、物事を奥深くまで理解できるようになることに面白さとやりがいを感じ、人と人をつなぐ言葉の力に気付いたことで、その力を大切に丁寧に使う姿勢を忘れず、異なる文化や背景を持つ人たちとも理解しあえるようになりたいと思うようになりました。

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

坂本 祐太ゼミ 「言語学」

Pick upゼミナール

▶ 施 利平 ゼミナール

社会学の視点で、
恋愛・結婚・家族を見つめなおす

施 利平 教授

恋愛や結婚、家族について社会的に探究し、相対的かつ客観的に考察するゼミナールです。ゼミ生のキャリアデザインやライフデザインに指針を提示し、仕事や生活に役立つ学びを提供します。施ゼミは、学友や教員とのかかわりの中で、自分自身を受け入れてもらえる安心感や、感情や考えを共有できる喜び、成長の実感をいただける場です。学年を超えた交流を重視し、3・4年生と大学院生の合同ゼミも実施します。下級生は先輩の論文の内容を学び、上級生は下級生の発表にアドバイスすることで、相互に高い学習効果を得られます。ともに学問の楽しさを味わい、人生を豊かにする土台を築きましょう。



■ 施 利平 PROFILE

大阪大学で博士号を取得。兵庫県家庭問題研究所勤務を経て、2003年から明治大学に勤務。研究テーマは日本の家族・親族研究、中国の一人っ子世代の結婚と出産、中国の都市化と世代間関係。

▶ 後藤 晶 ゼミナール

「人間らしい不思議」を
科学的に解き明かす

後藤 晶 准教授

なぜ人は「いらない」と思っても衝動買いをしてしまうのか？ SNSの「いいね」が気になるのはなぜか？ 私たちのゼミでは、こうした「人間らしい不思議」を科学的に解き明かすことを研究テーマとしています。行動経済学をベースに、実験という手法を用いて、人間の意思決定や社会の仕組みを深く探求していきます。協力や信頼、消費行動、幸福など、身近なテーマから社会の本質に迫るのが特徴です。最近では、人間とAIとの協力・信頼関係の構築といった、未来社会を見据えた研究にも挑戦しています。多様な分野を横断する学際研究として、データと理論を用いて「人間のリアル」を解明し、より良い社会をデザインする醍醐味と一緒に味わいませんか。



■ 後藤 晶 PROFILE

明治大学大学院情報コミュニケーション研究科博士後期課程修了。博士(情報コミュニケーション学)。山梨英和大学助教、多摩大学専任講師等を経て現職。専門は行動経済学、実験社会科学。主な研究テーマは、経済ゲーム実験、ナッジの社会実装、人間とAIの信頼関係に絡む課題など。

▶ 宮本 真也 ゼミナール

社会学、社会哲学における理論を通じ
共生のあり方について考える

宮本 真也 教授

「現代社会と社会理論」というテーマのもとで、私たちが現代において疑問に思う問題について、学生の関心に耳を傾けながら一緒に考えていきます。考え方の基本は、社会学、社会哲学における抽象的な理論ですが、取っつきにくそうに見えて、実は私たちの身近な現象を言い当てたり、説明したりしていることに気づいてもらえるようにしています。これまで「スポーツにおける暴力と指導」、「幸福を生む産業」、「ネットと格差社会」、「教育格差」、「ラジオ番組と現代」、「現代における幸福」などがテーマとして取り組まれてきました。大学でしかできない「分かる」楽しさと喜びを共有できるように努めています。



■ 宮本 真也 PROFILE

専門は社会学、社会哲学。コミュニケーションと社会的承認をキーワードに、社会の発展のダイナミズムとそれに付随して生じる社会的な病理に関心があります。社会は進歩しているはずなのに、どうして生きづらいのか、どうして生活が苦しい人々がいるのか、ジェンダーやセクシャリティ、生き方をめぐって、どうして私たちはまだそれほど自由で平等ではないのか、そうした原因について考えています。

▶ 清水 晶紀 ゼミナール

多様な学問と法学を統合し、
ローカルな環境問題の最適解を探る

清水 晶紀 教授

情報コミュニケーション学部は、学際的分析を通じて現代社会の課題解決を模索することを重視していますが、本ゼミでは、とりわけ、「法」を活用した課題解決を探ります。「法」というのは、学際的分析の成果をルールに落とし込んだもので、非常に強力な課題解決ツールになります。他方で、法制度とその運用実態を観察すると、現行法制度の下での様々な課題を発見することもできます。実際のゼミ活動では、「法」が持つこのような機能に着目し、環境・災害・地域課題への行政対応に焦点を当て、ローカルな環境問題に対する合理的かつ実現可能な法政策の提言に取り組んでいます。



■ 清水 晶紀 PROFILE

専門は環境法学、行政法学。東京出身ですが、福島に12年住んでいたこともあり、ローカルな環境問題に関心があります。法学部出身ですが、情報コミュニケーション学部へ赴任して「学際的分析の出口としての法学」の重要性を痛感し、この学部ならではの法学研究をゼミ生と模索しています。

※退職等により変更となる場合があります。

教員×学生
座談会

教員と学生が共に作り出す 「情コミならではの」学びの場

多様な分野の学びが集う情報コミュニケーション学部。
4年間の学びの中で自分の軸となる「専門性」と情コミの「学際性」について、
学部長をはじめとする教員と学生が語りあいました。



学際性と多様性 情報コミュニケーション学部の学びの特徴

阿部(力):情報コミュニケーション学部(以下、情コミ)では、課題を一つの分野から捉えるのではなく、軸となる専門性を設けながらも、分野を行き来して考える力を育てることを重視しています。

横田:学生には自分の専門領域に周辺分野の知識を組み合わせ、社会の課題解決に取り組む姿勢を培ってもらおう心がけています。情コミで謳っている学際性とは、浅く広く学ぶことではなく、あくまで専門性の上に成り立つものだからです。

内藤:専門性が一つだけしかない場合と比べて、異なる角度から深く物事を捉えられるようになるので、オリジナリティのある研究ができると思います。

「一つに絞れない」が強みになる 多彩な領域の学びをベースに広がる進路の可能性

一皆さんが情コミを志望した理由と現在の学びについて教えてください。

大町:高校時代から、情報セキュリティやAI活用に関わる問題に関心を持ちつつも、単一の分野の知見だけでは解決できないと感じていました。そこで、情報科学を心理学や経済学など、複数の学問の視点から多角的に捉えられる情コミという環境に飛び込みました。



阿部(史):高校時代は、関心のある分野がいくつもあり、進路を一つに絞りきれずにいました。そこで出会ったのが情コミ。将来の選択肢を広げながら、自分の志向を見出せる点に魅力を感じ、志望しました。ゼミでは、これまでとは違う新しい分野に挑戦したいと思い、法律や犯罪について学んでいます。心理学や経済学など、これまでに身に付けた知識が役立っていると実感します。

村重:進路を一つに絞れないからこそ、幅広く学ぼうと情コミを選びました。1・2年次では海外に、3・4年次では震災復興や日本の法政策など国内のトピックに目を向けました。視野を広げて得た知見が、身近な地域社会に活用できるのではないかと考えています。

皆川:情コミを志望したのは、分野同士のつながりを意識しながら学べる点に魅力を感じたからです。現在は、中川先生のゼミで、自身が生まれ育った地域を多角的に捉え直す研究に取り組んでいます。



成長を後押しする柔軟なコラボレーションと身につく多角的視点



—みなさんが感じる情コミの魅力とはどのようなものでしょうか。

大町:視野が広がっていく実感を得られる点は、情コミならではの面白さ。「情報コミュニケーション学入門A・B」を通して、法学や文学など、これまで関心を持たなかった分野にも触れる機会があり、無意識に考えが凝り固まっていたと気づかされます。

村重:情コミでは自分の興味に応じて、ゼミ外の先生から専門的な

指導を受けられる場面も多いと思います。フィールドワークの調査法を専門の先生から教わったり、卒業論文ではゼミ以外の先生からご助言いただいたりもしました。こうした柔軟なサポートを受けながら多角的に研究を進められる点は、情コミならではのですね。

内藤:私もよく、他の先生とコラボレーションしたり、学外で合同ゼミを行ったりしています。横田先生とも、一つの映画作品を両ゼミの学生の視点から考察、分析して意見を交わす合同ゼミの機会を設けています。学生たちが自分の意見を述べ、異なる分野の方たちに対していかに論拠に基づいた説明ができるか、懸命に取り組む姿には毎回感動します。

ぶれない軸を持って幅広い分野に羽ばたける素地を

—異分野と交わる環境だからこそ、専門の異なる相手にも自分の考えをきちんと伝える、その積み重ねによって多角的に物事を捉える力が養われるのだと思います。学生の皆さんは、今後情コミで得た力をどのように活かしたいですか。

阿部(史):卒業後はシステムエンジニアとして、顧客や社会が抱える課題の解決に携わりたいと考えています。情報科学に加えて、法律など他分野の知識も活用しながら、多角的な視点で複雑な課題やニーズを把握し、社会に貢献できる人材を目指したいですね。



—最後に、情コミを志望する受験生の皆さんへのメッセージをお願いします。

皆川:情コミは、一つの専門分野を軸にしなが、法律や社会、文化など複数の視点を重ねていくことで、オリジナルの強みを持った人材を目指せる場だと思います。私自身もその過程に立っているという実感があります。志向をことごとく追求することができる環境を活かして自分の道を模索してください。

中川:情コミには法学や政治学、教育学、文学など様々な専門性を持つ先生が揃っています。入学前に志向が定まっていなくとも、「何事かをなしたい」という意思があればチャンスをつかめる環境がここにはあります。

横田:色々な分野に手を出せることイコール学際性ではなく、あくまで自分が心惹かれる対象を見つけて、学んだ内容を形にするまでが大切です。そうした努力をサポートする余地が情コミにはあります！

阿部(力):まさに教員と学生が互いを高め合うような学びの場が情コミにはあると思います。入学を志す方々には、こうした環境で幅広く学んで関心を広げ、自分の軸となるテーマを見出してほしい。試行錯誤を重ねて「これだ」と思えるものに出会えるよう、願っています。



阿部 力也 学部長



研究テーマ：色々な犯罪にみる「現代の特徴」の考察、共犯の比較法的考察（とくに日本法とドイツ法）
担当科目：犯罪と法Ⅰ/Ⅱ、現代型犯罪と刑法Ⅰ/Ⅱ

WEB 座談会
全文紹介ページは
こちら



大学のHPでも閲覧可能です。

鈴木 雅博 教授(司会進行)



研究テーマ：学校組織における教師間相互行為
担当科目：情報社会と教育A/B

村重 温美さん



4年 清水ゼミ所属
山口県立山口高等学校卒業

横田 貴之 教授



研究テーマ：中東地域研究、イスラーム主義運動研究
担当科目：多文化と相互理解Ⅰ/Ⅱ、地域文化論(イスラーム)

阿部 史門さん



3年 阿部ゼミ所属
東京都立国立高等学校卒業

内藤 まりこ 准教授



研究テーマ：日本文学・文化研究、批判理論を用いた比較文学・文化研究
担当科目：日本語表現Ⅰ/Ⅱ、言語態研究、メディア教育論

皆川 夏葵さん



3年 中川ゼミ所属
東京都立三田高等学校卒業

中川 雄大 専任講師



研究テーマ：都市の成り立ちを歴史・物質・コミュニケーションから読みとく
担当科目：都市情報論、人文地理学

大町 野々花さん



1年 宮本ゼミ所属
兵庫県立神戸高等学校卒業

※阿部学部長と学生の阿部さんを区別するために、阿部(力)、阿部(史)としております。

情報コミュニケーション学部ならではの 多様な科目

外国語科目群

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

ドウ、ティモシー J. 専任講師

This course teaches English communication skills so that students can use English to interact appropriately with people from around the world. Students study how English is used in informal and formal settings so that they can achieve their communication goals.



4年
恵藤 陸さん

宮崎県立
都城泉ヶ丘高等学校卒業

単に英語で話すだけでなく、「どのように伝えるか」を深く学ぶ授業です。相手との関係性や社会的立場を踏まえ、状況にふさわしい表現を選ぶ実践的なコミュニケーション力が向上。英語を単なる言語ではなく、社会的な文脈で用いられるツールと捉える新たな視点も身に付きました。将来、指導者や多様な人々と関わる機会がある人にとって、細かいニュアンスを理解したコミュニケーションを学ぶ良い機会となるでしょう。

情報リテラシー科目

プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ

山崎 浩二 准教授

私たちはなんらかのソフトウェア=プログラムを通してコンピュータを利用します。したがって、プログラムがどのように動作し、どのように作成されるのかを理解することは、コンピュータに対する理解を深めるために重要です。この科目では、プログラミング言語としてPythonを用い、実習を通してプログラミングの基礎を学びます。



1年
井澤 和咲さん

神奈川県立
希望ヶ丘高等学校卒業

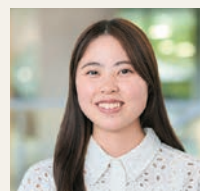
Pythonを用いた基礎的なプログラミングを通じ、ICTにおける数値や文字の扱い方、データ構造などを実践的に学習。テキスト処理ツールやスケジュール管理ツールの作成に取り組み、課題分析、機能設計、コード実装といった問題解決のプロセスを経験的に習得します。その結果、論理的思考力とICTを活用する実践力が養われました。本授業は、プログラミング技術だけでなく、自ら考え、試行錯誤しながら課題を解決する力を身に付けた人に最適です。

日本語表現科目

日本語表現Ⅰ・Ⅱ

内藤 まりこ 准教授

日々私たちは自分とは異なる経験、背景を持つ様々な人々に出会っています。「日本語表現」では、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを人々に分かりやすく伝えるための方法や技術を体得し、本学部の目指す教育目標の基礎を培うことを目指します。「日本語表現Ⅰ」では、多様な日本語表現の中でも「論述式」と呼ばれる論理的な文章に焦点を絞り、文章の構成や思考の組み立て方を学習し、レポートや論文を執筆するための作文の技術を身に付けます。「読むこと」を中心とする「日本語表現Ⅱ」では、様々な形式による日本語表現の読解を通じて、日本語を取り巻く多様なテーマについて考察し、自らの思考を複数の表現形式にまとめる実践も行います。



2年
森本 すずさん

神奈川県
私立山手学院高等学校卒業

講義で学んだ論理的思考を人と会話する際にも活用することで、物事を分かりやすく説明することができるようになり、言語化能力が向上したと感じます。また、「論理とは何たるか」を知ったことが、物事の真髄を見つめ、深く思考することにつながりました。さらに、読解力も上がったと実感しています。言葉に興味のある人はもちろん、あらゆる学問を学ぶ人の役に立つ授業です。

クリエイション科目

身体コミュニケーションA・B

沖縄では、旧盆になると、太鼓をもった若者たちが勇壮な舞「エイサー」を披露します。ダイナミックな舞と太鼓の響きは、先祖の霊をもてなし送り出すという信仰上の役割を持つのです。また、その芸態の魅力は沖縄系移民によって世界各地に伝えられ、移住先の文化と融合し New Eisa と呼ばれる太鼓パフォーマンスを創造しています。



本授業では、非言語コミュニケーションの基礎理論の修得と「エイサー」の実習を通して、身体によるコミュニケーション能力を身に付けるとともに、受講生の感性を活かした作品づくり「創作法」の修得を目指します。



3年
小長 美莉さん

東京都立
三田高等学校卒業

様々な分野を幅広く学べる点に惹かれ、情報コミュニケーション学部を選択。「身体コミュニケーションB」の授業では、エイサーを通じて沖縄の歴史や文化を学び、身体を用いた非言語的コミュニケーションを実践しました。授業後半では、グループに分かれて講義で得た知識や議論の内容を活かしながら「新エイサー」を創作。チームで一つの作品を創り上げたことで、講義形式では得られない協調性が身についたと感じます。

リサーチリテラシー科目

科学リテラシー

石川 幹人 教授

マイナスイオンにゲルマニウム、コラーゲンからデトックスまで、人体に有効とされるもののブームが現れては消えていきます。それには十分な科学的証拠がないまま、宣伝ばかりが先行しています。科学の信頼をよそおった疑似科学ビジネスなのです。自然科学はもとより、社会科学や人間科学の発展が文明を支えてきましたが、科学の先端では不確実な理論やデータがあふれています。本授業では、科学的なものの見方や考え方を身に付け、科学と疑似科学とを適切に評価できるようにします。高校まで確実な知識ばかりを習ってきた方には、目からウロコが落ちるような体験があるでしょう。



3年
原澤 涼太さん

東京都立
国立高等学校卒業

勉強と研究の違いを学ぶところから始まり、研究の方法や社会的意義を学びつつ、科学的なものの見方や評価方法を修得。社会にあふれる様々な科学的情報を鵜呑みにせず、合理的に判断する力が身に付きました。さらに、仮説の立て方やその評価方法を学び、調査や実験などの概念を詳しく知ることで科学研究に対する理解が深まりました。大学での学びの基盤といえる講義なので、研究職を志す人にはぴったりだと思います。

キャリアデザイン科目群

キャリアデザイン

キャリアデザイン科目群では、1年次に「キャリアデザイン」、2年次に「インターンシップ入門」、3年次に「実践キャリア支援講座」の科目を設置し、大学卒業後に社会で働くことについて主体的・実戦的に学べるよう充実したプログラムを提供しています。「キャリアデザイン」では、企業やNPO等の第一線で活躍されている方々から、仕事や学生時代について話を聞き、働くことの意味について考えます。「インターンシップ入門」では、自己分析講習や業界・企業研究を通じて、より実践的にインターンシップの概要を学びます。「実践キャリア支援講座」では、高度情報社会を牽引する企業から与えられた課題に対して、グループワークを通じて解決策を提案することで、リアルなビジネスの機会を体験します。



1年
荒木 銀牙さん

茨城県立
水海道第一高等学校卒業

この講義を受講し、想像した将来を単なる「想像」で終わらせず、その目標に近づくために「今何をすべきか」を考え、すぐに行動に移す力が身に付きました。自ら行動を起こさなければ何も始まらないという、当たり前のことを改めて認識するきっかけとなった授業です。まだ将来の目標が定まっていない人におすすめの科目。各業界で活躍するゲストの話聞くことで、将来についての展望をより具体的に深めることができるでしょう。

情報コミュニケーション学部の国際交流プログラム

情報コミュニケーション学部では学部独自の短期留学プログラム・学部間協定留学を積極的に推進しています。
 ※2026年4月時点でのプログラム内容です。

多様な短期留学プログラム

イギリス

ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院(SOAS)主催のサマープログラムに参加

現地でのサマープログラムに参加し、歴史ある首都ロンドンの中心で、大学内外を探索の場として活用できる、自由度の高いプログラムです。

参加者は英語力向上のサポートを受けながら、自身が選択した専門分野の講義を受け、セミナー、ディスカッション、ケース・スタディ、フィールドワークに取り組みます。



広大なキャンパスで勉強



プログラム修了式の様子

参加学生の声

- 世界レベルの大学で先生方と議論する経験から、SOASでの学びを研究に活かし、卒業後もロンドンで学び続けたいと思っています。

メディア

海外ロケ体験プログラムをテレビ局と共同で実施

テレビ局の現役ディレクターを講師に招き、メディアに関する事前講義や機材の扱い方を修得し、約7日間の海外ロケ体験に参加します。渡航後は、現地の方へのインタビューを行い、現地の文化を学びながらVTR制作に挑戦します。海外ロケ終了後はテレビ局のスタジオにて、プロの番組ディレクターの指導の下、模擬番組制作に取り組みます。一連の体験を通して、製作者の視点からメディアリテラシーを養うことを目指します。



現地ロケ



スタジオ収録の様子

参加学生の声

- いつも見ているテレビ番組の制作側を体験できたことは、とても貴重な機会でした。

タイ

シーナカリンウィロート大学への短期派遣プログラム

参加学生は、約2週間、シーナカリンウィロート大学の日本語専攻の学生たちと交流します。タイの学生らと市内やタイ文化を知るための史跡見学なども予定しています。異なる社会や文化背景を持つ同年代の現地学生と親密に交流することで、単なる観光では得ることができない「気づき」のきっかけとなるかもしれません。



アユタヤでの校外学習の様子



タイ文化体験の様子

参加学生の声

- 初めての海外でしたが、毎日、色々な人や文化や習慣といった新しいものに出会えてすごく刺激的でした。

フランス

リヨン第3大学との学生交流プログラム

フランス第二の都市リヨンにあるリヨン第3大学外国語学部日本語学科の学生とともに、「世界から見た日本」をテーマとして様々な授業に参加します。リヨン第3大学外国語学部日本語学科と情コミ学部は「学際的な視点」を重視していることが共通点。現地学生との交流や授業を通して、フランス文化や「フランスから見た日本の姿」を学ぶことがこのプログラムの最大の特徴です。



キャンパスでの学生の様子



リヨン第3大学

担当教員おすすめポイント

- 現代の日本社会を「世界の視点から」学びながら、異文化交流・語学力向上にも取り組むことができるプログラムとなっています。

※2026年度からの新しいプログラムです。

その他の短期留学プログラム

その他の短期留学プログラムについては、実施が決定次第、右のQRコードより最新の実施状況が確認できます。



学部独自の学部間協定留学

学部間協定留学とは、情報コミュニケーション学部が独自で協定を締結している大学・学部に、交換留学生として半年または1年間留学するプログラムです。

協定校	シーナカリン ウィロート大学 人文学部	香港城市大学 人文社会科学学院	ベトナム国家大学 ハノイ外国語大学 日本語文化学部	ハノイ貿易大学	ゲート大学 言語学・文化学・ 芸術学部
所在地	タイ・バンコク	中国・ 香港特別行政区	ベトナム・ハノイ	ベトナム・ハノイ	ドイツ・ フランクフルト
授業言語	英語/タイ語	英語	英語	英語	英語/ドイツ語



シーナカリンウィロート大学



香港城市大学



ベトナム国家大学・ハノイ外国語大学



ゲート大学

STUDENT VOICE



4年
野村 渚紗さん

千葉県立鎌ヶ谷高等学校卒業

留学先 ゲート大学

一人で抱え込まず、 周りを頼っていいことを世界が教えてくれた

実際に海外で生活する経験を得て、自分の視野を広げたいと考えて留学を決意。日本の魅力を世界に発信したいと思っていたこともあり、日本学部があるゲート大学を選びました。現地では日本の書物を題材にした授業や、移民に関する授業を履修。大学のあるフランクフルトは、ドイツ国内でも特に移民が多く、現実味のあるテーマとして理解を深められたと感じます。語学力も鍛えられ、政治や国際情勢などの話題にも参加できるように。留学を

通じて成長を感じたのは、「周りを頼ってもいい」と思えるようになったこと。自分の弱みを認め、声をあげれば状況は変わる。異文化環境であっても積極的に人とかわったからこそ得られた、貴重な学びとなりました。



STUDENT VOICE



4年
田和 直碧さん

東京都私立自由学園高等部卒業

留学先 香港城市大学

異なる価値観や言語の壁を乗り越えて 得られる学びがある

世界で最も国際的な大学として評価されていることに魅力を感じて香港城市大学へ留学。学内の公用語が英語であることにも興味がありました。元々海外志向があり、異なるバックグラウンドの人との交流を通じて自分の価値観を広げたいと考えていたことも、留学を決めた理由のひとつです。現地で過ごす日々は、すべてが楽しく、成長につながっていると実感しました。主に学んだのは、マーケティング。グループを組んでリサーチを行ったり、レ

ポートを書いたり、異なる価値観や言語の壁に対処しながら一つの課題に取り組むことは、留学ならではの経験であり、とても学びになりました。英語でアウトプットする力も磨かれたと思います。



ともに学ぶ教員たち

- ① 主な担当科目
- ② 研究テーマ
- ③ メッセージ

阿部 力也 教授

色々な犯罪にみる「現代の特徴」の考察
共犯の比較法的考察
(とくに日本法とドイツ法)



- ① 犯罪と法、現代型犯罪と刑法
- ② 「犯罪と法」をめぐる重要論点の分析
- ③ 色々な「もの見方」のなかから、「法的な思考」を身に付けるメリットに気づいて欲しいと思う。意外に、皆さんにとって現代社会を生き抜くための「方策」になるのでは？

江下 雅之 教授

技術と産業・社会の相互作用の関係の研究



- ① 情報社会論、メディアの歴史
- ② メディア環境とライフスタイルの相互作用的な関係
- ③ 実用的な知識は社会人になればイヤでも習得するもの。大学生の時代こそ(役に立たないこと)に熱中しましょう。

施 利平 教授

東アジアにおける家族・親族関係の変容と持続



- ① 家族社会学
- ② 恋愛・結婚・家族の社会学
- ③ 知力とともに気力、体力とコミュニケーション力を身に付けよう！

鈴木 雅博 教授

学校組織における教師間相互行為



- ① 情報社会と教育
- ② 学校の社会学
- ③ 学ぶほどに問いが深まり、問いが深まることそれまでの自分の考えが揺らぎます。自分を揺さぶる学びをしてみませんか。

田村 理 教授

フランス憲法史、フランス革命と憲法、日本の政治文化と立憲主義



- ① 憲法、人権と政策、個人と国家
- ② 現実の人と社会と憲法の描く人と社会のズレを明確化し考察する
- ③ 与えられたルールにのっければ良い時代は終わりました。社会にアピールして居場所をつくる発信力を大学で身に付けてください。

石川 幹人 教授

人間の認知機能を生物進化の歴史に位置づけ、様々な心理現象の背景を探る



- ① 科学リテラシー、脳科学、認知科学
- ② 私たちの身の周りにある奇妙なことを発見し探究しよう
- ③ 人間と社会、それらを取り巻く地球環境など、大きなことを見とおす力を養ってください。

川島 高峰 教授

2050年の日本国／日本人／日本文化の構想



- ① 政治学、政治とメディア
- ② 2050年の日本国／日本人／日本文化の研究
- ③ 地球規模で考え、日本の歴史と経緯を知り、未来を構想しよう。

島田 剛 教授

開発経済学、途上国への援助、国内の経済格差、福島復興



- ① 国際経済論
- ② 気候変動、途上国の貧困にどう取り組むか—あるべき政策を考える
- ③ 格差が世界的にも国内でも拡大していきます。どのような解決方法があるか考えていきましょう。

須田 努 教授

歴史学とはどのような学問なのか、現代社会を理解するための日本史研究



- ① 歴史学、社会文化史・異文化コミュニケーション史
- ② 日本近世・近代の社会文化、民衆暴力
- ③ 歴史的センスを身に付け、よりよい将来を模索するための知を創り上げましょう。

塚原 康博 教授

高齢化時代の公共政策



- ① 公共政策
- ② 情報化・少子高齢化・グローバル化時代の公共政策
- ③ 現代社会を「論理的」かつ「有機的」に考える力を身に付けてください。

今村 哲也 教授

情報社会における知的財産法上の政策課題の検証



- ① 知的財産法、ビジネスと法
- ② 知的財産に関する諸問題の研究
- ③ 情報社会を生き抜くためには、知的財産法に関する知識と理解が必要です。

清原 聖子 教授

現代アメリカ政治とメディアの関係、情報通信分野に関する日米比較政策研究



- ① 情報政策論、現代アメリカ政治論
- ② アメリカ大統領選挙、ネット選挙、フェイクニュースなど
- ③ メディアやソーシャルメディアを切り口に、政治学的な視点から現代社会の諸問題を捉え、解決策を考えてみましょうか。

清水 晶紀 教授

行政活動の不作為に対する法的統制、原子力行政の実態分析とその法的統制



- ① 現代行政と法
- ② 各アクターの視点で環境行政の課題を分析し、法政策を提言する
- ③ 情報コミュニケーション学部だからこそ得られる「何か」があるはずですよ。それを一緒に考え、そして掴み取りましょう。

関口 裕昭 教授

ドイツ抒情詩、日独比較文化論



- ① 比較文学・比較文化、ドイツ語
- ② メルヒェン研究／映画と文学の比較研究
- ③ 異質なものととの出会いを通して、自分の世界を広げ、深めていきましょう。

中里 裕美 教授

地域通貨研究、経済社会学、社会ネットワーク論



- ① ネットワーク社会学
- ② 社会ネットワーク<つながり>の研究
- ③ 大学生活を通して、自分が夢になれる何かを見つけてください。

岩淵 輝 教授

生命論(生命とは何か) 生命思想史 グスタフ・フェヒナーの精神物理学



- ① 生命思想史
- ② 生命の探究
- ③好きなこと、本当に大事だと思うことを、追求しつづけてください。

高馬 京子 教授

超域文化としてのファッション、流行論、日仏ファッションメディアにおけるファッションとジェンダー表象



- ① 超域文化論、地域文化論
- ② クリテリカル・ファッション・スタディーズ：メディアにおいて構築/伝達されるファッション(服飾流行)とジェンダー像
- ③ 情コミでの様々な学びや経験を通して、視野を広げ、深め、好奇心、探求心を持って自分の夢を見つけてください。

鈴木 健 教授

カルチュラル・スタディーズ 説得コミュニケーション論



- ① メディア批評
- ② カルチュラル・スタディーズ、メディア批評、政治コミュニケーション論
- ③ 現代社会をポップ・カルチャーと説得コミュニケーション論を通じて読み解く方法を学びましょう。

大黒 岳彦 教授

「メディア」と「情報」の思想・哲学的研究



- ① 哲学、メディア論
- ② 現代社会の(現在(いま))を多角的に掘り下げる
- ③ 自分だけの「問題」を見つけ、それとことなかだちすること。

根橋 玲子 教授

主に日本人の異文化接触における対人コミュニケーション行動



- ① 異文化理解・異文化間コミュニケーション
- ② 異文化間コミュニケーション・多文化共生
- ③ 大学では、様々な背景の人々との出会いや学びを通して、多文化に生きることを体感してください。

牛尾 奈緒美 教授

企業に働く人々がジェンダーの枠を越えて活躍できる場・方策を考案



- ① ジェンダー・マネジメント
- ② 企業に働く人々がジェンダーの枠を越えて活躍できる場・方策を考案するなど、組織のダイバーシティ推進に関する研究
- ③ 幸せなキャリア、自分にあった生き方とは何か、この4年間でじっくり考えてみましょうか。

小林 秀行 教授

災害社会学、災害情報論、リスク社会学。とくに、住民主体の災害対策や災害復興に関する研究



- ① リスク社会学
- ② リスク社会をどう生きればいいのか-調整と共生から考える現代社会
- ③ 大学は、新たなものへと触れる機会に溢れた場所です。多くに触れ、学び取り、あなただけの夢や志を見つけていきましょう。

鈴木 健人 教授

国際安全保障、冷戦史、現実主義の国際政治理論



- ① 国際関係論
- ② 米国の覇権が揺らぎを見せる中で進んでいる国際秩序の変動を理解し、日本の進むべき方向を見定める
- ③ 厳しい現実を冷静に分析し前向きに問題解決を考える、たくましさ身に付けよう。

竹中 克久 教授

組織社会学、組織文化研究(組織シンボリズム)および組織美学



- ① 組織論、組織と情報
- ② 組織社会学-現代社会を読み解く
- ③ 大胆な発想から精緻な論理を組み立てる楽しさを伝えていきたいと考えています。

波照間 永子 教授

身体技法および舞踊技法の研究、無形文化財のアーカイブ化(記録・保存)、現代芸術の創造



- ① 身体表現論
- ② 芸術コミュニケーション研究 ~社会におけるアートの役割・問題を検討する~
- ③ 様々な体験を重ね、試行錯誤しながら、あなた自身の「ぶれない軸」(強み)を見つけてみましょう。

日置 貴之 教授

歌舞伎における戦争・災害表象、近現代日本における演劇・芸能の古典化



- 1 日本文学、日本文化論
2 日本演劇研究、江戸時代後半から明治時代の演劇(歌舞伎)における災害や戦争の描写
3 「研究」ということを堅苦しく考えず、身の回りのどんなことでも研究対象になりうるのだと思ってください。自分が関心を持っている事柄について、少しじっくり考えてみましょう。

小田 光康 准教授

マスメディアと高等教育の比較制度分析、ジャーナリズム・マスメディアコミュニケーション教育、メディアクリティック



- 1 メディア教育論
2 ジャーナリズムと戦略コミュニケーションの理論と実践に関する研究
3 メディアを通じて情報発信するメディアリテラシーが求められる現在、メディアの現在進行形を一緒に学びましょう。

田中 洋美 准教授

ジェンダー研究、メディア研究、文化研究



- 1 ジェンダー論、ジェンダーと社会
2 メディア、テクノロジーの社会・文化分析
3 枠にとられない思考力を鍛え、自らを自由にしていきましょう。

脇本 竜太郎 准教授

ファン行動を自己防衛の観点から理解する



- 1 社会心理学
2 ファン行動、自己防衛、格差の合理化にかかわる心理メカニズム
3 心と社会の相互作用という視点から、人間を多面的に理解する姿勢とスキルを身に付けましょう。

宮田 泰 専任講師

現代社会における私的紛争の解決をめぐる制度と手続きの考察



- 1 紛争解決システム論
2 紛争解決システム論
3 情報コミュニケーション学部でも一緒に学びましょう。

宮本 真也 教授

コミュニケーションと相互承認の社会理論



- 1 社会学、コミュニケーション思想史
2 批判的社会理論
3 現代という時代、日本という社会を超えていく方法を、大学時代で身に付けましょう。

熊田 聖 准教授

ビジネスにおける交渉での満足できる合意の要因は何か



- 1 意思決定論
2 意見の対立している分野を取り上げ、調査し、自分の考えを明確にし、それを他人に説明できるようにする
3 あなたの理系と文系の知識を統合すると、社会の問題をじっくり考えられるようになります。

内藤 まりこ 准教授

日本文学・文化研究、批評理論を用いた比較文学・文化研究



- 1 日本語表現、言語対研究、メディア教育論
2 言語表現を読み解く技法：理論と実践
3 文学や映画等の文字や映像で表現された作品の分析を通して世の中を少し異なる角度から眺める方法を身に付けてお手伝いをします。

和田 悟 准教授

法分野を中心とした情報技術応用



- 1 情報社会と安全
2 アジアに目を向け情報社会と情報技術について考える
3 いそがず、じっくりゆきましょう。

竹崎 一真 特任講師

スポーツと身体をめぐる社会学



- 1 ウェルネス、ウェルネス・スポーツ
2 スポーツ社会学、身体とジェンダーに関するカルチュラル・スタディーズ
3 手ひとは頭で考えることではありません。身体的な経験を通して得る知識「身体知」という言葉があります。身をもって新しい知と出会い、考え、またこれまでの当たり前を問い返すような、そんな学びの地平を切り拓いていきましょう。

山内 勇 教授

日本企業のイノベーション活動、知的財産制度に関する実証研究



- 1 情報社会と経済、情報産業論
2 イノベーションの経済学
3 情報社会やデータエコノミーで活躍できる「人間力」を養いましょう。データやAIなど素材や道具だけではイノベーションは起こりません。

後藤 晶 准教授

行動経済学・実験経済学 協力行動・利他的行動に関する研究



- 1 情報と経済行動、不確実性下の人間行動
2 行動経済学・実験経済学：人間の行動と社会制度を考える
3 大学時代は様々なことに「悩む」時代です。よく悩み、いろんなことにチャレンジして、自分の新たな可能性を切り拓きましょう。

蛭川 立 准教授

心身問題への人類学的アプローチ。儀礼とコスモロジーの研究



- 1 人類学、身体と意識、不思議現象の心理学
2 人類学と意識研究
3 世界には不思議がいっぱいです。よく観察し、よく考察しましょう。

高橋 華生子 専任講師

国際開発、都市・地域計画、NGO 研究



- 1 国際開発論
2 途上国・新興国の都市における空間開発のあり方を検討する
3 ネットワークを活かして、経験からの学びと遊びと一緒に探っていきましょう。

増野 亜子 特任講師

音楽や芸能における音・人・環境の相互関係を探る民族音楽学、音楽人類学



- 1 音楽論・音楽表現論
2 東南アジアの伝統芸能・音楽の調査研究
3 正解への近道を知ることよりも、時間がかかっても自分で問いを立て、答えを探し、色々な人や物事に会って寄り道しながら進んでいく方がずっと面白い。それぞれの問いを追求する探検家になろう。

山口 生史 教授

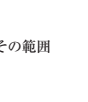
組織がうまく機能するためのコミュニケーション学



- 1 組織コミュニケーション
2 組織コミュニケーションと組織行動学
3 皆さんとともに組織の問題をコミュニケーションの視点から考えていきたいと思えます。

齋藤 航 准教授

債務不履行および不法行為に基づく損害賠償請求の根拠とその範囲



- 1 市民社会と法、財産と法
2 民事法における債務不履行責任、不法行為責任
3 法律を学ぶ楽しさ、ルールに基づいて問題を解決する面白さを知ってもらいたいと思っています。

堀口 悦子 准教授

「ジェンダー」視点でコミュニケーションから法制度までを分析



- 1 ジェンダーと法
2 ジェンダーに基づく性暴力、ヒューマン・セクソロジー
3 「ジェンダー」を知っている人も知らない人も、一緒に学び、考えてみましょう。

ドウ、ティモシー J. 専任講師

第二言語修得



- 1 英語コミュニケーション、英語音声学
2 Second Language Acquisition, Language Teaching Methodology, Discourse and Conversation Analysis
3 Don't be discouraged by your mistakes - they are your biggest opportunities to learn and develop!

大島 岳 助教

生きるための理論としてライフヒストリー研究を彫琢する



- 1 社会調査法、質的調査分析法、社会調査実習
2 ライフ/オーラル・ヒストリー研究、社会的苦悩とレジリエンス(特にHIV/エイズ・性的マイノリティ)
3 夢中になって打ち込める何か、行ったことのない道を歩く勇気を持つこと。社会学は、世界と自分の人生をより良くするための終わりがなき旅です。一緒に学んでいきましょう。

横田 貴之 教授

中東地域研究、イスラーム主義運動研究



- 1 多文化と相互理解、地域文化論
2 中東・イスラーム研究一現代中東とイスラームから異文化と世界を学ぶ
3 大学生活を通して、自分の人生における「推し」を見つけよう。

坂本 祐太 准教授

言語理論に基づく「ことば」の研究



- 1 言語学
2 言語理論に基づく「ことば」の研究
3 コミュニケーションの代表的なツールである「ことば」が持つ様々な不思議を一緒に紐解きましょう。

山崎 浩二 准教授

コンピュータを用いた様々なシミュレーション



- 1 情報科学、プログラミング実習
2 LSIの故障検査
3 自分がおもしろいと思えるものを見つけて、大学を楽しんでください。

中川 雄大 専任講師

都市の成り立ちを歴史・物質・コミュニケーションから読み解く



- 1 都市情報論、人文地理学
2 都市と空間の社会学
3 都市はもっとも身近な社会の一つです。「今・ここ」を相対化して、社会を多角的に捉える力を一緒に養っていきましょう。

情報コミュニケーション学部で取得できる資格

教員免許状

情報コミュニケーション学部では、指定された科目を修得すれば、次の教員免許状を取得することができます。

中学校教諭一種免許状	社会、外国語(英語)
高等学校教諭一種免許状	公民、外国語(英語)、情報

教員免許状を取得するためには、次のような科目群の単位修得が必要です。

- 学士(情報コミュニケーション学)の取得に必要な単位(つまり学部を卒業できる条件を満たすこと)
 - 教科または免許状に応じた指定科目
 - 「教職に関する科目」
- ※詳しくは『資格課程案内』をご覧ください

CCNA(シスコ技術者認定資格)

CCNA(Cisco Certified Network Associate)とは、ネットワーク関連製品の最大手であるシスコシステムズ社が認定する資格で、中小規模のネットワークの構築・運営・管理が可能な能力を身に付けていることを証明するものです。CCNA資格の取得のための授業としては「ネットワーク技術I~IV」が用意されています。動画や音声を活用したWeb教材が用意されていて自分のペースで学習を進めることができるようになっていきますし、授業ではネットワーク機器を使って実際にネットワークを構築し実際的な問題に対処するなどの実践的な実習も取り入れられています。

社会調査士

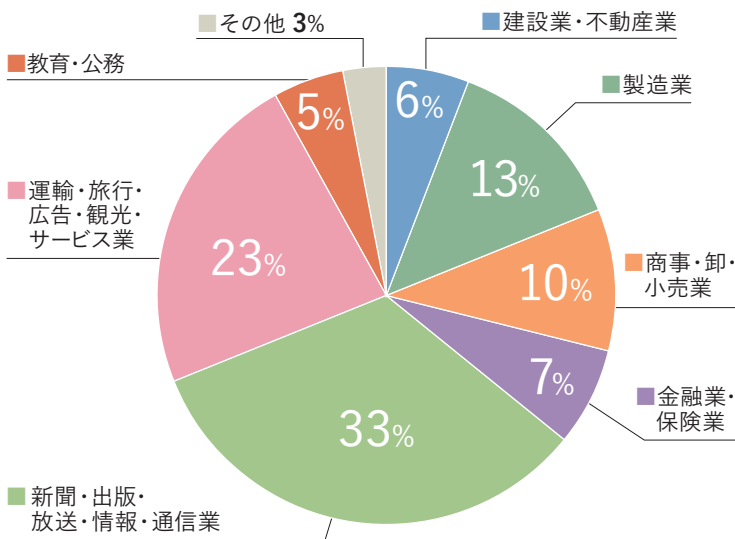
社会調査をすることのできる知識と技能を有していることを証明する資格です。社会調査には、マーケティング調査、コミュニティ・企業・学校などにおける意識調査など様々なものがありますが、社会科学的手法に従い多様な社会現象を理解し、諸現象の因果関係などを明確に提示するのに有効な手段です。社会調査協会に認定された科目(全部で7種類、うち一部選択)を修得して卒業すると、試験を受けることなく社会調査士の資格を得る条件を満たします。

学芸員、社会教育主事、司書、司書教諭

指定科目の修得により卒業と同時に取得できます。

情報コミュニケーション学部の就職実績

業種別 就職状況 (2022~2024年度 卒業者)



主な就職先企業・団体名

建設業・不動産業		
・野村不動産(株)	・東急リパブル(株)	・住友不動産(株)
・積水ハウス(株)		
製造業		
・(株)バタフライエンターテインメント	・(株)ロッテ	・富士通(株)
・TOPPAN(株)	・ロート製薬(株)	・積水化学工業(株)
・(株)日立製作所		
商事・卸・小売業		
・アマゾンジャパン(同)	・(株)ニトリ	・(株)ZOZO
・(株)セブンイレブン・ジャパン	・キングレコード(株)	・ルイ・ヴィトン ジャパン(株)
・サムスン電子ジャパン(株)		
金融業・保険業		
・りそなグループ	・(株)ゆうちょ銀行	・東京海上日動火災保険(株)
・三井住友信託銀行(株)	・明治安田生命保険(相)	・(株)ジェシービー
新聞・出版・放送・情報・通信業		
・UUUM(株)	・KDDI(株)	・楽天グループ(株)
・伊藤忠テクノソリューションズ(株)	・NTT東日本(株)	・日本アイ・ビー・エム(株)
・(株)テレビ東京	・(株)NTTドコモ	・ソフトバンク(株)
運輸・旅行・広告・観光・サービス業		
・日本航空(株)	・西濃運輸(株)	・(株)星野リゾート・マネジメント
・(株)スターダストプロモーション	・(株)エイチ・アイ・エス	・(株)博報堂
・東京電力ホールディングス(株)	・アクセンチュア(株)	・(株)ベイカレント・コンサルティング
・PwCアドバイザリー合同会社	・(株)電通	
教育・公務		
・国家公務員(一般職)	・東京都特別区	・埼玉県庁
・札幌市役所	・千葉県警察本部	・東京都教育委員会

最新の就職実績はこちら▶



(順不同)

情報コミュニケーション学部生の1日

ひとり暮らしの場合



自分の生活すべてに責任を持つからこそ実感できる成長

2年
玉木 真結さん

宮城県私立尚綱学院高等学校卒業

ひとり暮らしを選んだ理由と実際の感想を教えてください。

明治大学を志望していたことに加え、大学生のうちに親元を離れて自立した生活を送りたいという強い思いから選びました。自分で生活のすべてを管理することで、自己管理能力を養い、社会に出る前に人間的な成長を遂げたいと考えています。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか。

週3日大学へ通い、その他の日はアルバイトやサークル活動に充てるなど、メリハリのある日々を送っています。長期休暇には海外旅行を通して新しい文化に触れ、視野を広げています。忙しい中でも体調管理を徹底し、充実した学生生活を送るよう心がけています。

ある日のスケジュール

- 7:30 起床**
朝食を食べ、身支度を整え、電車の時間を確認します。
- 10:00 習い事**
将来英語を幅広く活用したいと考えているため、英会話スクールに通っています。
- 12:00 昼食**
友人と学食を食べることが多いですが、一人で美味しいお店を探すことも好きです。
- 13:30 マクロ経済学**
マクロな視点から経済全体について学び、考えます。
- 15:20 問題発見テーマ演習**
メディアとジェンダーについて学んでいます。グループワークが中心であるため、活発な意見交換を心がけています。
- 17:00 課題**
その日の授業で出た課題や、プレゼンテーションに向けた準備を行います。
- 19:00 サークル活動**
他大学のダンスサークルに所属しています。大きな公演や大会のために日々仲間と練習に励んでいます。
- 21:30 帰宅**
学生マンションの友人と夕食を食べます。
- 23:30 就寝**
翌日の準備をし、必ずストレッチをしてから寝ます。

1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	130,000円
アルバイト	80,000円
合計	210,000円
支出	
家賃	85,000円
食費	35,000円
光熱費	10,000円
通信費	10,000円
交際費	35,000円
貯金	35,000円
合計	210,000円



自宅から通学の場合



遅刻や欠席はもったいないこと 授業で学びを得る姿勢は崩さない

3年
川口 大和さん

東京都立両国高等学校卒業

自宅から通うメリット・デメリットを教えてください。

掃除、洗濯などの家事や食事の管理など、家族のサポートと慣れ親しんだ環境は、学業をはじめとする大学の活動に専念するためには有難いもの。しかし通学時間が長いこともあり、自由な時間に制約があることも事実で、自己管理能力や責任感といった自立心は意識しないと芽生えにくいと思います。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

大学に通う最大の目的は、自分の興味関心の幅を広げてそれらを深めること。授業によっては課題が多く大変に感じることもありますが、遅刻や欠席をせず、必ず出席して、何かしらの学びを得るといった姿勢は常に崩さないように日々心がけています。

ある日のスケジュール

- 6:15 起床**
テレビでニュースや天気予報を見ながら朝ご飯を食べます。
- 7:30 勉強**
朝の学習は小学生からの習慣です。朝は集中力が続きやすいのでおすすめ。
- 9:30 登校**
通学中は好きな音楽を聴いて気分を上げます。テスト前は勉強に充てます。
- 10:50 Critical Discussion**
ある社会問題のトピックについて英語でのDiscussionを通じて理解を深めます。
- 12:30 昼食**
友達と談笑する時間。進路や将来のことを話すことも多いです。
- 13:30 マクロ経済学**
社会における様々な経済現象をマクロな視点から分析します。
- 16:50 アルバイト**
学習塾で集団の授業。小学6年生に文系科目、中学3年生に数学を教えます。
- 22:15 帰宅**
遅めの夕食を食べ、入浴します。
- 23:45 就寝**
翌日の準備を済ませてから就寝。

1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り(昼食代・交通費)	10,000円
アルバイト	90,000円
合計	100,000円
支出	
食費	10,000円
交際費	35,000円
貯金	35,000円
衣類・趣味等	20,000円
合計	100,000円



各分野で活躍している卒業生たち

※掲載内容は取材当時のものです。

放送局



情コミで参加した実践的な
プログラムがテレビ業界を志すきっかけに

株式会社福岡放送 勤務 **山木 康聖**さん

福岡県立修猷館高等学校卒業
2019年4月、株式会社福岡放送に入社。
報道部所属

卒業後は地元に戻り福岡のテレビ局へ入社。1年目から記者として事件や事故を中心に取材をしてきました。2年目で転勤した北九州支局では、保育園送迎バスでの置き去り事故や旦過市場における2度の火災など、全国に放送されるニュースの現場で、関係者や被災者の声を集めました。また、日々のニュースの取材と並行して水害や戦争など自分の興味のある分野について長期取材を実施。ドキュメンタリー番組として、放送するチャンスも得ました。2022年10月からは、朝の情報番組のディレクターとして生番組の制作を担当しています。

学生時代には、「国際交流(メディア)」に参加。ネタ探しから海外ロケ、台本の作成やスタジオでの収録など実際の番組づくりに近いプログラムを体験しました。現場でしか分からないことを多くの人に伝える楽しさを実感し、テレビ業界を志す大きな契機となりました。情コミは、目標が決まっていない人はそれを見つけ確かなものにする、目標が決まっている人は学びを積み重ね自分を磨くことができる場所だと感じます。

私の信念は、「明日、誰かが泣かないための報道をする」こと。今後も、より視聴者に伝わりやすくするための工夫や深く知ってもらうための番組作りに挑戦し続けたいです。

出版



多角的な「コミュニケーション力」を駆使し、
まだ見ぬデジタル社会を創造

TOPPANエッジ株式会社
勤務 **馬場園 みゆ**さん

東京都私立恵泉女学園高等学校卒業
2025年4月、TOPPANエッジ株式会社に入社。
セキュアDX統括本部
企画開発本部 セキュア企画販促部所属

私は現在、金融業界向けのBPO事業の販促と、日本初となる国際的な法人デジタル証明書に関するプロジェクトに携わっています。お客様の要望を正確に理解し、営業・システム・現場など多くの部署と連携して新しい仕組みを形にしていく仕事です。まだ世の中になくサービスを生み出す難しさを感じる一方で、社会の新しい仕組み作りの一端を担っていることに大きなやりがいを感じています。

情コミでの学びで最も活かしているのは「コミュニケーション力」です。業務が社内外の多くの部署や顧客との調整が中心であり、「仕事は、人と人のコミュニケーションで成り立っている」と実感しています。言語学ゼミで「ことば」の仕組みを分析したり、映像表現論で構成による受け手の印象の違いを学んだりした経験が、現在の仕事で「どう伝えたら相手に伝わるのか」を意識する土台になっています。

今後は、業務知識を深め、相手から「ぜひこの人に任せたい」と指名されるような、推進力のある人材を目指しています。情コミは分野の垣根を越えて学べるため、自分の「好き」を見つけるチャンスが豊富です。少しでも「面白そう」と感じたなら、ぜひその直感を信じて一歩踏み出してみてください。

サービス



多分野の学びの中で見つけた「好き」が、
今の仕事につながっています

株式会社オリエンタルランド
勤務 **上村 悠馬**さん

東京都私立明治大学付属中野高等学校卒業
2018年4月、株式会社オリエンタルランドに入社。
経営戦略本部 リゾート開発部
リサーチ&アナリシスグループ所属

入社して3年間はテーマパークの飲食施設で時間帯責任者として従事、その後2年間はバイヤーとして食材の買い付けや在庫管理を行っていました。現在の部署に配属されてからは、お客様により良い体験・サービスを提供するための調査や分析を担当。たくさんのお客様の笑顔が仕事に励む活力となっています。

情報コミュニケーション学部は、「自分が本当に好きなこと、やりたいことは何か」を知ることができる場だと思います。4年間で幅広い分野や考え方に触れていくうちに、今よりもっと興味のあることが見つかるかもしれませんし、様々な分野に触れたうえで揺るがない確信を伴った「好き」に気づけるかもしれません。私自身、高校生の時は現職とは異なる業界に興味を持っていましたが、大学生活の中で自分の好きなことの本質に気づき、履修する授業分野も変わっていきました。基礎ゼミや授業で行ったプレゼンテーションやディスカッションを通じて磨かれた相手の考えを知るための傾聴力や、意見の異なる相手と合意形成をはかるうえでの論理的思考力は、業務で社内外の様々な方と協働するうえで非常に役立っています。今後さらにスキルアップし、調査・分析を通して全社的なパフォーマンス向上に寄与していくとともに、様々な志を持って働く同僚のチャレンジも後押しできる存在になりたいです。

メーカー



様々な文化・人・考え方に
触れた経験が価値観を大きく変えました

パナソニック エナジー株式会社 勤務 **小野 緋里さん**

東京都私立東京女学館高等学校卒業
2020年4月、パナソニック株式会社に入社。
経理センター 事業管理部所属

私は現在、乾電池や車載電池を扱う会社で、経理の仕事をしています。全社の収支、財務管理を総括し、経理面から事業の課題、対策を提言することで、事業活動のサポートをするのが私の組織のミッションです。私たちの商材は皆様の日々の暮らしや社会インフラを支えているため、世の中の役に立っていることを実感でき、大きなやりがいとなっています。

情コミで印象に残っているのは学部間協定校への留学。人との付き合い方、自分のあり方、ものの見方など、価値観を大きく変えてくれた経験です。様々な文化・人・考え方に触れ、多角的な視点を得ることができました。この留学は私の人生のターニングポイントであり、この経験があったからこそ、現在様々なバックグラウンドを持つメンバーと意見を交えながら仕事ができています。入社後、マーケティングから経理にキャリアチェンジしましたが、どんな職種でも、どんな職場でも役立つスキルを身に付けられました。

入学時は将来やりたいことが定まっていなくても、卒業する頃には自分に合った、自分がやりたいことが見つかるはず。思わぬ新しい自分を発見できるかもしれません。情報コミュニケーション学部で入学して、ぜひ様々な新しいことに挑戦してみてください。

金融



多様な情報とコミュニケーションする力が、
業務に活かされています

三菱UFJ信託銀行株式会社 勤務 **藤田 耶真人さん**

東京都私立工学院大学附属高等学校卒業
三菱UFJ信託銀行株式会社 名古屋証券代行部
営業推進課所属

私は現在、株式会社の株主名簿管理人として、株主情報の管理を中心とした業務を担当しています。株主情報を軸に、確実な事務の遂行や株主総会の円滑な運営といった顧客の多様なニーズに応えるため、日々奔走しています。

情コミで特に印象に残っているのは、入学直後に受講した基礎ゼミでの学びです。ここでは、文献などから出てくる数多くの情報の中から重視する情報を見極め、それらを統合して解釈する力が養われました。学問の基礎よりも先に、学問に触れるための土台として「情報の取り扱い方」を学べたことは、私の原点となりました。

この学びは仕事でも発揮されています。業務においては会社法や金融商品取引法といった法律の知識だけでなく、証券取引所のルールや会社ごとの文化、近年急速に姿を変える株主総会のトレンドや経済情勢まで幅広く情報を集め、解釈する必要があります。無限とも言える情報の中で、基礎ゼミで習得した情報を読み解くスキルが発揮されています。

情コミは、とにかく自由な学部。自分の可能性を信じて扉を叩けば、応えてくれる環境が整っています。ぜひ、ここで多種多様な学びを得て、思い描いた未来へ進んでください。

教員



「ことば」と「人」を深く理解し、
未来を支える英語科教員へ

兵庫県加古川市立浜の宮中学校 勤務 **西脇 璃緒さん**

兵庫県立加古川西高等学校卒業
2023年4月、兵庫県加古川市立浜の宮中学校に入職。
教諭として勤務

公立中学校で英語科の教員をしています。英語指導だけでなく、生徒たちが社会に出るための成長をあらゆる面でサポートする仕事です。人間関係や進路など、多感な時期ならではの悩みを一緒に考え、生徒の成長を間近で見られることに大きなやりがいを感じています。一人ひとりの人生と真剣に向き合うことで、生徒と共に自分も成長できる、貴重な仕事だと実感しています。

情報コミュニケーション学部での学びは、今の仕事に直結しています。特に坂本先生の言語学の授業に衝撃を受け、普段の言葉や会話を学問として分析する新鮮さに惹かれました。言語学を専攻し、それが教員という今の仕事に就く理由のひとつにもなっています。大学で「ことば」と「人」に関する授業を多く受講したおかげで、言葉や行動、表情など、生徒の数だけある多様なコミュニケーションの方法を理解しようとする姿勢が身に付きました。

情コミは幅広い分野を学べるため、自分の適性や本当にやりたいことを見つけることができます。明確な目的がある人も、入学後にじっくり分野を広げたい人も、ぜひその魅力を活かして充実した大学生活を送ってください。

ジェンダーセンターの活動

2004年に開設された情報コミュニケーション学部は、明治大学の女子教育を担ってきた戦前の専門部女子部、戦後の短期大学の伝統を引き継いで、当初よりジェンダー研究の推進を、学部の理念のひとつとして掲げてきました。社会的、文化的に形成された性をめぐるイメージや役割である「ジェンダー」の問題を中心に、さらに多様な生き方を実現する社会の理想としての

「ダイバーシティ」と、私たちの「私らしさ」を築き上げるために重要な要素である「社会的承認」を手がかりに、公正な社会実現のための双方向コミュニケーションのあり方を追求することは、情報コミュニケーション学の重要な課題のひとつです。2010年4月にジェンダーセンターが設置されて以降、特別講演会・シンポジウム・学生向けイベント等を実施しています。

ジェンダーセンターの活動実績

●特別講演会

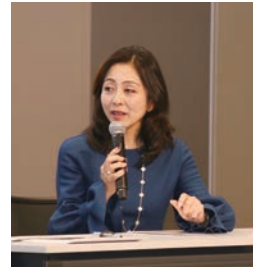
- 2024 『企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント』
- 2025 『企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント』
『近世新吉原遊廓の実像と現代』

●シンポジウム

- 2024 『「違和感」から始まるジェンダー表現 —アートディレクター、メディア制作、身体パフォーマンスをとおして』

●上映会

- 2024 『資料映像上映会+トークイベント「女性法曹界の道を拓いた人々 —明治大学専門部女子部の足跡」』
- 2025 『ドキュメンタリー映画「トークバック 沈黙を破る女たち」 —ジェンダー研究と表現実践への挑戦』



詳しくはこちら▶

入試情報(2027年度)

明治大学の一般選抜(学部別入試・全学部統一入試・大学入学共通テスト利用入試)は、すべてWeb出願です。パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。

※詳細は、一般選抜要項(明治大学ホームページにて11月上旬公開予定)をご確認ください。
※特別入試・推薦入試では、Web出願受付を行いません。

■学部別入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日
332名	1月7日(木)~1月21日(木) ※締切日消印有効	2月8日(月)	2月15日(月)9:30	3月5日(金) ※締切日消印有効
入学試験時間割・配点			試験科目	
1時限	2時限	3時限	外国語……………「英語」(英語コミュニケーションI~III、論理・表現I~III) 国語……………「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く 地理歴史、公民 ……「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」 数学……………「公共、政治・経済」、「数学」(数学I~II、数学A、数学B「数列」、 数学C「ベクトル」)から1科目選択	
10:00~11:00 (60分)	12:00~13:00 (60分)	14:20~15:20 (60分)		
外国語(配点100点)	国語(配点100点)	地理歴史、公民、数学(配点100点)		

■全学部統一入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日	試験会場
25名	1月7日(木)~1月18日(月) ※締切日消印有効	2月5日(金)	2月15日(月)9:30	3月5日(金) ※締切日消印有効	東京(本学キャンパス)、 神奈川(本学キャンパス)、 札幌、仙台、名古屋、大阪、 広島、福岡

利用する「全学部統一入学試験」の教科・科目・配点等			
教科	時限	科目	配点
外国語	1時限 9:30~10:30 (60分)	「英語」(英語コミュニケーションI~III、論理・表現I~III)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	150点
●下記の5教科9科目のうちから2科目を選択。 3科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。			
国語	2時限 11:30~12:30 (60分)	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く	200点(100点×2)
地理歴史・公民・理科	3時限 13:50~14:50 (60分)	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「物理」(物理基礎、物理)、「化学」(化学基礎、化学)、「生物」(生物基礎、生物)	
数学	4時限 15:50~16:50 (60分)	「数学」(数学I~II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	
合計(3科目)			350点

■ 大学入学共通テスト利用入学試験（3科目方式）

入学試験日は、「令和9年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科（募集人数）	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
30名	1月7日（木）～1月15日（金） ※ 締切日消印有効	1月16日（土）・1月17日（日）	2月15日（月）9:30	3月5日（金） ※ 締切日消印有効

利用する「大学入学共通テスト」の教科・科目・配点等

教科	科目	配点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、リーディング100点、リスニング100点とする。	200点

● 下記の科目のうちから1科目を選択。
2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。

国語	『国語』	200点
数学	『数学I, 数学A』、『数学II, 数学B, 数学C』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	

● 下記の科目のうちから1科目を選択。
2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。
「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。

地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
公民	『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
情報	『情報I』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
合計(3科目)		600点

■ 大学入学共通テスト利用入学試験（6科目方式）

入学試験日は、「令和9年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科（募集人数）	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
10名	1月7日（木）～1月15日（金） ※ 締切日消印有効	1月16日（土）・1月17日（日）	2月15日（月）9:30	3月5日（金） ※ 締切日消印有効

利用する「大学入学共通テスト」の教科・科目・配点等

教科	科目	配点
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、リーディング100点、リスニング100点とする。	200点
数学	『数学I, 数学A』	100点
	『数学II, 数学B, 数学C』	100点

● 下記の科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。
同一教科内について、2科目の利用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。

地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』	200点 (100点×2)
公民	『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報I』	
合計(6科目)		800点

■ 特別入学試験

● 付属校推薦入試(65名)	● 指定校推薦入試(30名)	詳細は、情報コミュニケーション学部事務室 (TEL.03-3296-4262～64)までお問い合わせください。
● スポーツ特別入試(8名)	● 外国人留学生入試(20名)	

明治大学情報コミュニケーション学部がわかる9つのポイント

情報コミュニケーション学って？

自ら問いを立てる



学際性と多様性

学科・科目

1学科800授業から選択



マイカリキュラム

国際・留学

世界を身近に



誰でも挑戦できる国際交流

創造と表現

映像・アート・音楽・ダンスなど



あらゆる表現
を支援

ゼミナール

専門分野を少人数で



1年生から

語学

言語背景も学ぶ



多彩な語学教育

研究交流祭

ゼミの成果を発表



学年を超えた
交流

教員紹介

成長をサポート



多分野で活躍する
教員たち

キャリア教育・進路

幅広い就職先



4人に1人が
マスコミ・通信業界へ

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/infocom>



LINE @meijisexam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた？

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

